

者ノ權利
義務

ニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スノ權利義務ヲ有ス而シテ其法律上ノ性質ニ關シテハ種種ノ議論アレトモ我民法ハ之ヲ相續人ノ代理人トセリ蓋シ遺言執行者ハ相續人ニ屬スル權利義務ヲ行フモノニ過キサレハ之ヲ相續人ノ代理人トスルヲ以テ適當トスレハナリ唯其相續人ノ意思ニ依ラサル代理人タル以上ハ所謂法定代理人ノ一種ト見テ可ナラン

第二 遺贈

遺言ヲ以テ他人ニ財産ノ一部ヲ贈與スルトキハ之ヲ遺贈 Legacy, legs, Vermächtniss ト謂ヒ其遺贈ヲ受クル者ヲ受遺者ト謂フ受遺者ハ相續人ニ非ス負擔付遺贈ヲ受クルニ非サレハ受遺者ハ其遺贈ニ付キ何等ノ義務ヲ負ハス唯包括受遺者ハ遺産相續人ト同一ノ權利義務ヲ有スルノミ包括受遺者トハ遺言者ノ財産上ノ權利及ヒ義務ヲ包括シテ之ヲ承繼スルモノナリ然レトモ受遺者ハ其何レノ種類タルヲ論セス相續人ト同シク其遺贈ノ承認又ハ拋棄ヲ爲スコトヲ得抑モ遺言ハ前ニ屢論セシカ如ク遺言者ノ死後ニ效力ヲ生スルモノトセハ其效力發生後ニ於テ受遺者ニ承繼又ハ拋棄ヲ爲スノ權利ナキカ如ク見ユレトモ決シテ然

受遺者ト
相續人ト
ノ差異

遺贈ノ承
認及ヒ拋
棄

ラス受遺者ハ遺言ノ效力ノ發生ニ先チテ承認又ハ拋棄ノ意思ヲ表示シ得ルノ理ナク其效力ノ發生アリタルカ故ニ承認又ハ拋棄ノ問題モ始メテ生スルナリ但其承認又ハ拋棄ハ相當ノ時期ニ於テ之ヲ爲ササルトキハ遺贈義務者其他ノ利害關係人ノ不便少カラス故ニ法律ハ此等ノ者ヲシテ相當ノ期間ヲ定メテ其期間内ニ承認又ハ拋棄ノ意思ヲ表示スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得シメ若シ其期間内ニ受遺者カ意思ヲ表示セザリシトキハ遺贈ヲ承認シタルモノト看做セリ若シ遺贈カ效力ヲ生セス又ハ拋棄ニ依リテ其效力ナキニ至リタルトキハ受遺者カ受クヘカリシ財産ハ相續人ニ歸屬ス他ニ受遺者アルモ遺言者カ特別ノ意思ヲ表示シタル場合ノ外之ニ歸屬スルコトナキナリ

第五編 商法

商法ノ意

商法トハ私法ニシテ特ニ商事ニ關スル法規ノ全體ヲ謂フ商事ニ關スル法規ト云フカ故ニ單ニ商人ナル特種ノ人ノ間ニ行ハルルニ非ス普通人ト雖モ商事ヲ爲ス者ハ此法規ニ從ハサルヲ得ス又私法ニシテ特ニ商事ニ關スルモノト云フカ故ニ商法ハ一人相互ノ關係ヲ規定スルモノニシテ且法律ノ種類中所謂特別法ニ屬ス之ニ對スル普通法ハ即チ民法ナリ又商事ニ關スル法規ノ全體ヲ總稱スト云フカ故ニ商法ヲ組成スルモノハ單ニ商法典ノミニ限ラス此外銀行法、取引所法等、商事若クハ商人ニ關スル特別法又ハ商慣習法並ニ民法ノ規定ハ皆商法ノ淵源ト爲ルモノナリ

商法ノ淵源

第一章 商人

商人ノ意義ヲ確定スル必要

商法ハ特ニ商人ニノミ適用セララルルニ非ス非商人ト雖モ特定ノ商行爲ヲ爲ス場合ニハ等シク商法ノ規定ニ依ルヘキモノトス然ラハ商法上ノ法律關係ニ於

商法ノ定メタル意

テ商人モ非商人モ同シク其主體タルコトハ明白ナレトモ非商人ハ唯其商行爲ヲ爲スカ爲メニ商法ノ適用ヲ受クルノミニシテ商人ノ如ク特定ノ條件ニ服従スル者ニ非ス故ニ此ニ先ツ商人ノ何タルコトヲ説明シ又商人ニ特別ナル規定ノ概要ヲ察セサルヘカラス

我商法ハ自ラ商人ノ定義ヲ下セリ曰ク本法ニ於テ商人トハ自己ノ名ヲ以テ商行爲ヲ爲スヲ業トスルモノヲ謂フト故ニ商法ニ於テ商人ト稱スル者ハ左ノ諸要素ヲ具ヘサルヘカラス

- (一) 商行爲ヲ爲スコト 商行爲ノ何タルコトハ後ニ之ヲ説ク
- (二) 商行爲ヲ爲スヲ業トスルコト 業トハ營業ノ意ニシテ即チ生計ノ爲ニスル意思ヲ以テ一定ノ行爲ヲ連續スルヲ謂フ單獨ノ商行爲ハ非商人モ尙ホ之ヲ爲ス之ヲ營業トスルニ非サレハ以テ商人トスルコトヲ得ス
- (三) 自己ノ名ヲ以テスルコト 自己ノ計算ニ於テスルト否トヲ問ハス又自己直接ニ爲スト否トヲ問ハス總テ自己ノ名ヲ以テ商行爲ヲ爲スヲ業トスルニ非サレハ之ヲ商人ト謂フコトヲ得ス故ニ例ヘハ匿名組合員カ他人ノ爲メニ資本

商人ニ適用セラルヘキ事項

ヲ投スルカ如キ又番頭手代等カ其主人ノ爲メニ商行爲ヲ爲スカ如キハ營業ノ損益ハ自己ニ歸シ又ハ自己直接ニ其行爲ヲ爲スモ自己ノ名ヲ以テスルニ非サルカ故ニ之ヲ商人トスルコトヲ得ス
商人ノ意義ハ此ノ如シ而シテ廣ク商人ト云フトキハ自然人タル商人モ法人タル會社モ固ヨリ之ヲ含ムコトヲ得故ニ此ニ説ク所ノ原則ニシテ自然人ニ特別ナルモノノ外ハ會社ニモ亦之ヲ適用スルコトヲ得今左ニ商人ニ適用セラルヘキ事項ヲ述ヘン

第一、商業登記

第一 商業登記

商業上必要ノ事項ハ之ヲ世ニ公ニシテ商業ノ信用ヲ保チ其取引ノ圓滑ヲ計ルヲ便トス商業登記ハ此目的ノ爲メニ設ケタルモノニシテ當事者ノ請求ニ因リ其營業所ノ裁判所ニ備ハタル商業登記簿ニ之ヲ爲ス登記ヲ要スル事項ハ未成年者妻後見人ノ商業商號及ヒ會社ニ關スル事項等ニシテ裁判所ハ其登記ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス其登記及ヒ公告ヲ爲シタル後ハ登記事項ハ之ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二、商號
商號ノ性質

第二 商號

登記商號ノ效力

商號 Tradename, raison de commerce, Firma トハ商業上各商人ヲ表示スルノ名稱ニシテ氏氏名又ハ其他ノ名稱例ヘハ越後屋肥前屋等所謂屋號ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得既ニ自己ノ名ヲ以テスルヲ商人タルノ條件トセハ商號ノ必要モ亦自ラ明ナラン而シテ其商標ト同シカラサル所以モ亦言ヲ俟タサルヘシ商標ハ商品ヲ表示スルカ爲メノ標識ニシテ商人ヲ表示スルモノニハ非サルナリ
商號ヲ登記スルト否トハ商人ノ自由ニ屬スト雖モ之ヲ登記スルトキハ專用ノ權利ヲ生ス同一ノ營業ニ付キ同一ノ市町村内ニ於テハ他人更ニ同一ノ商號ヲ登記スルヲ得ス又之ヲ使用スル者ハ法律上不正ノ競争ノ目的ヲ以テ使用スルモノト推定セラル此ノ如ク商號ハ法律ノ保護ニ賴レル一種信用ノ標識ニシテ之ヲ一箇ノ財産ト看做スヘキモノナレハ之ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得而シテ營業ト共ニ之ヲ讓渡シタル場合ニ當事者ニ於テ別段ノ意思ヲ表示セサリシトキハ讓渡人ハ一定ノ年限内同一市町村ニ於テ同一ノ營業ヲ爲スコトヲ得ス

第三、商業帳簿

第三 商業帳簿

第二卷 第五編 第一章 商人

商業帳簿ハ商業上財産ノ動靜ヲ記載スル帳簿ニシテ商人ハ法律上ノ義務トシテ必ス之ヲ備フルコトヲ要ス蓋シ商業帳簿ノ利益ニニアリ一ハ商業上ノ關係ヲ證明スル材料タルコトヲ得ヘク一ハ破産ノ際ニ支拂停止ノ原因ヲ知悉スルコトヲ得ヘシ故ニ法律ハ各商人ニ商業帳簿ヲ備フルコトヲ命シ又其帳簿ノ記載ハ整然且明瞭ニスヘキコトヲ命セリ

商業帳簿ノ種類
帳簿及ヒ信書保存ノ義務

商業帳簿ノ種類ヲ分チテ日記帳、財産目録及ヒ貸借對照表トス日記帳ハ財産ノ動狀ヲ示スモノニシテ財産目録及ヒ貸借對照表ハ其靜狀ヲ示スモノトス而シテ此三種ノ商業帳簿ハ各商人ニ於テ最終記載ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス尙ホ營業ニ關スル信書モ帳簿ト相俟チテ商業ノ狀態ヲ詳ニスルノ便益アルヲ以テ法律ハ商人ニ同一年間之ヲ保存スルノ義務ヲ負ハシメタリ

第四 商業使用人及ヒ代理商

第四、商業使用人及ヒ代理商

商行爲ハ本人自ラ之ヲ爲スヲ要セス他人ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得是ニ於テ種種ノ機關ヲ生ス而シテ商業使用人及ヒ代理商ハ專ラ商人ニ特有ナル機關トシテ之ヲ説カサルヲ得ス

(一) 商業使用人 Trade assistant, employé de commerce, Handelsangestellter

(一) 商業使用人
商業使用人ノ種類
商業使用人ノ權利義務

商行ハ商人カ其營業ノ爲メニ使用スル者ニシテ或ハ營業ノ全部ニ關スル各種ノ行爲ノ爲メニ使用スル者アリ或ハ營業ノ或ル種類又ハ特定ノ行爲ノ爲メニ使用スル者アリ或ハ單ニ勞務ノ爲メニ使用スル者アリ一ヲ支配人トシニ番頭手代トシ三ヲ其他ノ使用人即チ通俗ニ稱スル丁稚小僧等トス支配人ハ主人ノ選任ニ依リ主人ニ代リテ其營業ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲スノ權限ヲ有シ又番頭手代其他ノ使用人ヲ選任又ハ解任スルコトヲ得而シテ主人ノ計算ノ爲メニ專心其營業ニ從事スヘキノ義務アルカ故ニ主人ノ許諾ナクシテ自己又ハ第三者ノ爲メニ商行爲ヲ爲シ又ハ會社ノ無限責任社員タルコトヲ得ス番頭手代モ亦主人ノ選任ニ依リ其主人ヨリ委任ヲ受ケタル事項ニ關シ一切ノ行爲ヲ爲スノ權限ヲ有スルコト支配人ト同シ唯其職務ノ範圍狹キノミ其他ノ使用人ニ至リテハ主人ニ代リテ法律行爲ヲ爲スノ權限ヲ有セス唯事實上ノ勞務ニ服スルニ過キササルナリ

(二) 代理商

(二) 代理商 Agent, Handelsagent トハ使用人ニ非スシテ一定ノ商人ノ

代理商ノ
權利義務

爲メ、ニ、平、常、其、營、業、ノ、部、類、ニ、屬、ス、ル、商、行、爲、ノ、代、理、又、ハ、媒、介、ヲ、爲、ス、者、ヲ、謂、フ、故、ニ、
代、理、商、ハ、或、ハ、商、行、爲、ノ、代、理、ノ、ミ、ヲ、爲、シ、或、ハ、其、媒、介、ノ、ミ、ヲ、爲、シ、或、ハ、代、理、ト、媒、介、
ト、ヲ、兼、ヌ、ル、コ、ト、ア、レ、ト、モ、畢、竟、其、商、行、爲、ハ、商、人、ノ、營、業、ノ、部、類、ニ、屬、シ、且、其、代、理、又、
ハ、媒、介、ハ、連、續、シ、テ、之、ヲ、爲、ス、モ、ノ、ナ、ル、ヲ、要、ス、即、チ、個、個、ノ、代、理、又、ハ、媒、介、ヲ、爲、ス、ニ、
非、ス、シ、テ、概、括、シ、テ、之、ヲ、爲、ス、モ、ノ、ナ、ル、ヲ、以、テ、本、人、或、ハ、之、ヲ、知、ラ、サ、ル、コ、ト、ア、リ、從、
ヒ、テ、代、理、商、ハ、代、理、又、ハ、媒、介、ヲ、爲、シ、タ、ル、ト、キ、ハ、遲、滯、ナ、ク、之、ヲ、本、人、ニ、通、知、ス、ル、ノ、
義、務、ヲ、負、フ、又、代、理、商、ハ、要、ス、ル、ニ、商、人、ノ、機、關、ト、シ、テ、其、信、任、ニ、依、リ、テ、義、務、ヲ、行、フ、
者、ナ、ル、ヲ、以、テ、本、人、ノ、利、害、ト、相、反、ス、ル、ノ、行、爲、ヲ、爲、ス、コ、ト、ヲ、得、ス、從、ヒ、テ、商、業、使、用、
人、ト、同、シ、ク、本、人、ノ、許、諾、ナ、ク、シ、テ、自、己、又、ハ、第、三、者、ノ、爲、メ、ニ、本、人、ノ、營、業、ノ、部、類、ニ、
屬、ス、ル、商、行、爲、ヲ、爲、シ、又、ハ、同、種、ノ、營、業、ヲ、目、的、ト、ス、ル、會、社、ノ、無、限、責、任、社、員、タ、ル、コ、
ト、ヲ、得、ス、

第二章 會社

會社ノ意

會社トハ商、行、爲、ヲ、爲、ス、ヲ、業、ト、ス、ル、ノ、目、的、ヲ、以、テ、設、立、シ、タ、ル、社、團、法、人、ヲ、謂、フ、商

會社ノ種
類

行爲ノ營業カ商人ニ必要ノ條件タルコトハ既ニ之ヲ論セリ其法人タル商人即
チ會社ニモ亦必要ノ條件タルコトハ自ラ明ナルヘシ而シテ其社團ナルノ故ヲ
以テ社員カ會社竝ニ第三者ニ對スル關係ニ於テ會社ノ形狀ニ種種ノ區別ヲ生
ス是レ會社ノ種類アル所以ナリ我商法ハ合名會社合資會社株式會社合資
會社ノ四種類ヲ認メタリ以下逐次ニ之ニ關スル規定ヲ考察セン

第一節 合名會社

第一 合名會社ノ性質

合名會社
ノ性質

合名會社 Partnership, société en nom collectif, offene Handelsgesellschaft トハ社員ノ全員
カ會社ノ債務ニ付キ無限責任ヲ有スル會社ナリ無限責任トハ會社ノ財産ヲ以
テ其債務ヲ辨濟スルニ足ラサル場合ニ各社員カ連帶シテ辨濟ノ責ニ任スルヲ
謂フ故ニ合名會社ノ社員ハ各自其總財産ヲ以テ會社ノ債務ヲ辨濟スルノ義務
アリテ其負擔獨リ出資ノ額ニ止ラス蓋シ會社ノ信用ヲ鞏固ニスルノ趣意ニ出
ツルナリ而シテ社員ノ責任此ノ如ク大ナルノ結果法律ハ出資ノ種類ヲ制限セ

三九二
ス金錢其他ノ財産ハ勿論勞務又ハ信用ヲモ亦之ニ充ツルコトヲ得

第二 會社關係

會社内部
ノ關係

合名會社ノ關係ハ内部ニ對スルモノト外部ニ對スルモノトニ分チテ之ヲ觀ルコトヲ要ス(一)内部ノ關係即チ社員ノ會社ニ對スル關係ハ財産上ノ關係業務執行上ノ關係及ヒ持分上ノ關係ヲ其主タルモノトス財産上ノ關係ハ即チ社員出資ノ義務ニシテ此ニ其解說ヲ要セス業務執行ニ關シテハ合名會社ニ特色アリ即チ各社員ハ連帶無限ノ責任ヲ有スル結果トシテ皆平等ニ業務ヲ執行スルノ權利ヲ有シ又義務ヲ負フヲ原則トス持分トハ各社員カ會社ニ對シテ有スル權利ニシテ社員ハ其全部又ハ一部ヲ第三者ニ讓渡スコトヲ得レトモ他ノ社員ノ承諾ナキトキハ其讓渡ハ社員ト第三者トノ間ニ止リ會社ニ對シテハ依然トシテ社員ノ持分ト看做サル是レニ合名會社カ人ニ重キヲ置クニ由ル(二)外部ノ關係即チ第三者ニ對スル關係ハ會社代表上ノ關係社員及ヒ會社ノ責任上ノ關係ヲ以テ主トス各社員カ皆平等ニ業務執行ニ任スルト特ニ業務執行社員ヲ定メタルトヲ問ハス總テ會社ヲ代表スヘキ社員ハ會社ノ營業ニ關シ一切ノ行爲

會社外部
ノ關係

ヲ爲スノ權限ヲ有ス而シテ其權限ハ定款ニ依リテ制限スルコトヲ得サルニ非サレトモ善意ノ第三者ニ對シテハ制限ノ效力ナシ社員ノ責任カ連帶無限ナルコトハ更ニ説クコトヲ要セス而シテ其責任ハ新社員即チ會社設立後ニ加入シタル者ニ於テモ異ナル所ナシ又社員ノ出資ノ減少ハ之ヲ以テ會社ノ債權者ニ對抗スルコトヲ得ス又會社ハ損失補償ヲ爲シタル後ニ非サレハ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ得ス是レ皆外部ニ對スル責任上ノ關係ナリ

第三 社員ノ退社

凡ソ社團ハ社員ノ退社ニ因リテ解散スルヲ原則トスレトモ商事會社ニ於テハ合名會社カ人ニ重キヲ置クヲ以テスルモ尙ホ之ヲ解散ノ原因トセス殘社員ハ依然トシテ會社ヲ存續スルコトヲ得是レ專ラ商事ノ便宜ヲ計ルニ出ツ其社員退社ノ場合ニハ任意ト不任意トアリ任意ノ退社ハ(一)會社ノ存立時期ヲ定メサルトキ(二)或ル社員ノ終身間會社ノ存續スヘキコトヲ定メタルトキ(三)已ムコトヲ得サル事由アルトキ(四)定款ニ定メタル事由發生スルトキ(五)總社員ノ同意アルトキニ行ハレ不任意ノ退社ハ(一)除名(二)死亡(三)破産(四)禁治產ノ場合ニ生ス而

退社ノ場
合

退社後ノ社員ノ責任

シテ一旦退社シタル社員ハ其退社後ノ會社ノ債務ヲ負擔スルノ責任ナシト雖モ其退社前ノ會社ノ債務ニ付キテハ退社後尙ホ二年間責任ヲ負フ

第四 解散

解散ノ原因

合名會社ノ解散ニハ任意解散ト不任意解散トアリ任意解散ノ原因ハ(一)會社存立時期ノ滿了其他定款ニ定メタル事由ノ發生(二)總社員ノ同意(三)會社ノ合併トシ不任意解散ノ原因ハ(一)會社ノ目的タル事業ノ成功又ハ其成功ノ不能(二)社員カ一人ト爲リタルコト(三)會社ノ破産(四)裁判所ノ命令トス其何レノ原因ニ因ルモ會社解散ノ場合ニハ其營業上ノ關係ハ消滅シテ會社財產處分ノ必要生ス其處分方法ニハ會社ノ意思ニ依ルモノト法律ノ規定ニ依ルモノトアリ會社ノ意思ニ依ル處分方法ハ此ニ必スシモ説明セス法律ノ規定ニ依ル處分方法ハ即チ清算ナリ故ニ清算ハ會社ノ財產カ定款又ハ總社員ノ同意ニ依リテ處分セラレサル場合ニ於テ開始ス而シテ合名會社ノ總社員ハ當然業務執行社員タルト同シク當然清算人タルコトヲ得若シ社員又ハ社員外ノ者ヲ選任シテ清算人トスルトキハ社員ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス清算人ノ職務ハ(一)現務ハ結了(二)債權ハ

解散後ノ法律關係

清算

清算人ノ職務

取立及ヒ債務ノ辨濟(三)殘餘財産ノ分配ヲ爲スニ在リ

清算結了後ノ社員ノ義務

清算結了スルトキハ會社ハ全然消滅ス然レトモ會社ノ營業ハ利害ノ關スル所廣ク其營業上其他ノ證據ハ輕シク之ヲ湮滅スヘカラス故ニ會社ノ帳簿營業上ノ信書並ニ清算ニ關スル書類ハ社員ノ過半数ヲ以テ選定シタル者ニ於テ十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス又清算ノ結了ト共ニ起ルヘキハ社員ノ連帶無限ノ責任カ何時マテ存續スルカノ問題トス法律ハ解散ノ登記後五年間存續ストヒリ蓋シ永久ニ其責任ヲ負ハシムルハ獨リ社員ヲ責ムルコト過酷ナルノミナラス商業上ノ安全ヲ害スルノ恐アルヲ以テ此ノ如ク期限ヲ付シタルナリ

第二節 合資會社

第一 合資會社ノ性質

合資會社ノ性質

會社ノ社員ハ一部分カ無限責任ヲ負ヒ又他ノ一部分カ有限責任ヲ負フモノヲ合資會社 Limited partnership, société en commandite, Kommandit-Gesellschaft トス故ニ合資會社ハ一方ニハ合名會社ノ長處ヲ取り一方ニハ後ニ説ク株式會社ノ長處ヲ

加ヘタルモノニシテ合名會社ノ一種ノ變體ト云フモ敢テ不可ナルコトナシ其合名會社ト異ナル所ハ唯社員ノ對外關係ニ在ルノミ從ヒテ合名會社ノ規定ニシテ合資會社ニ適用セララルモノ多シ是レ立法者カ合資會社ニ別段ノ定アル場合ノ外合名會社ニ關スル規定ヲ準用スル所以ナリ

第二 會社關係

會社關係ニ付キテハ此ニハ唯其有限責任社員ニ關スルモノヲ説明スレハ可ナリ先ツ其會社ノ内部ニ對スル關係ヲ觀ルニ財產關係ニ於テハ有限責任社員ハ金錢其他ノ財產ヲ以テ出資トスル外無限責任社員ノ如ク勞務又ハ信用ヲ出資トスルコトヲ得ス業務ノ執行ニ關シテハ有限責任社員ハ無限責任社員ノ如ク當然之ニ任スルノ權利ナク又義務ナシ唯帳簿ノ閱覽會社財產ノ検査ヲ爲シテ業務ヲ監視スルノ權利アルノミ持分ノ讓渡ハ無限責任社員ノモノニ關シテハ總社員ノ承諾ヲ要スルモ有限責任社員ノモノニ關シテハ唯無限責任社員ノ承諾ヲ得ルヲ以テ足ル要スルニ有限責任社員ハ會社ニ對シテ唯資本供給者ノ位置ヲ占ムル者ニシテ其利害關係ハ無限責任社員ノ密切ナルノ比ニ非ス故ニ會

有限責任社員ノ會社及ヒ第
三社員ノ對
スル權利
義務

合資會社

無限責任社員
有無限責任社員

社内部ノ關係ニ於テ無限責任社員ノ如ク重大ナル權利義務ナシ若シ夫レ外部ノ關係ニ於テハ有限責任社員ハ會社代表ノ權利ヲ有セサルト同時ニ會社ノ債務ニ付キテ出資ヲ限度トシテ責任ヲ負フノミ然レトモ若シ有限責任社員ニシテ無限責任社員ナリト信セシムヘキ行爲ヲ爲シタルトキハ其社員ハ第三者ニ對シテ無限責任社員ト同一ノ責任ヲ負ハサルヲ得ス

第三節 株式會社

第一 株式會社ノ性質

株式會社 Jointstocke compagnie, société par actions, Aktien-Gesellschaft トハ株主ヲ以テ組織スル會社ニシテ即チ會社ノ資本ヲ株式ニ分チ其引受又ハ讓受ヲ爲シタル者カ其額ヲ限度トシテ責任ヲ負フモノナリ故ニ株式會社ニ於テハ資本ハ之ヲ株式 Shares, actions, Aktien ニ分ツコトヲ要ス株式ニ分ツトハ其資本ヲ一定平等ノ額ニ分割シ證券ニ依リテ各社員ノ持分ヲ代表スルヲ謂ヒ其證券ハ之ヲ株券ト稱シ其證券ヲ所有スル者即チ株式ヲ引受又ハ讓受ケタル者ハ之ヲ株主ト稱ス要ス

株式會社
ノ性質

ルニ株式會社ハ資本ニ重キヲ置キテ人ニ重キヲ置カス社員ノ交替頻繁ナルモ只株主ノ變更アルニ止リ會社ノ信用ニ些ノ影響ナシ從ヒテ株式會社ノ社員ハ皆確定有限ノ責任ヲ負ヒ且其責任ハ獨リ會社其物ニ對シテ存スルノミ合名會社合資會社ニ於ケルカ如ク社員相互ノ關係又ハ社員カ第三者ニ對スル關係アルコトナシ

株式會社ノ設立

株式會社ハ其便益大ナルト同時ニ其弊害モ亦少カラス故ニ其組織ニ付キテハ他ノ會社ヨリ一層嚴密ノ取締ヲ受ク今我商法ニ據リ其設立ノ條件ヲ舉クレハ
(一)設立ノ發起(二)定款ノ作成(三)株式ノ引受及ヒ拂込(四)創立總會(五)設立ノ登記トス設立ノ發起ハ株式會社ニ特有ノ條件ニシテ其設立ニハ七人以上ノ發起人アルコトヲ要ス定款ノ作成ニ關シテハ言ヲ俟タス株式ノ引受ニハ發起人カ其總額ノ引受ヲ爲ス場合ト株主ヲ募集シテ引受ケシムル場合トアリ發起人カ株式總額ヲ引受クル場合ニハ會社ハ同時ニ成立スレトモ株主募集ノ場合ニハ總額ノ引受アルヲ待チテ又更ニ創立總會ヲ開カサルヘカラス而シテ其何レノ場合ニ在リテモ株式總額ノ引受アリタルトキハ必ス第一回ノ拂込トシテ株金ノ四

分、一、以上、ニ及フコトヲ要ス創立總會ハ株主ノ株式總額ノ引受及ヒ第一回ノ拂込終ハリタルトキ發起人之ヲ招集スヘキモノニシテ株式引受人ノ半數以上ニシテ資本ノ半額以上ニ當ル者出席シ其議決權ノ過半數ヲ以テ一切ノ決議ヲ爲シ取締役及ヒ監査役ヲ選任ス而シテ會社ノ成立ハ之ニ依リテ完シト雖モ第三者ニ對シテ有效ナラシムルカ爲メニハ設立ノ登記ヲ要ス

第二 株式

株式ノ性質

株式ハ株式會社ノ社員即チ株主カ會社ニ對シテ有スル權利ニシテ合名會社又ハ合資會社ニ於ケル持分ト同シ然レトモ持分ハ其額ニ制限ナク又各自不均一ナルコトヲ得レトモ株式ハ必ス均一ナルコトヲ要シ且其額ハ五十圓以下ヲ下ルコトヲ得ス但一時ニ株金ノ全額ヲ拂込ムヘキ場合ニハ二十圓マテ下ルコトヲ得又株式ハ性質不可分タルコトヲ要シ一株式ニ付キ二人以上ノ株主アルコトヲ認メス若シ實際共有ニ屬スルモノアルトキハ共有者ハ株主ノ權利ヲ行フヘキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

株式ノ引

株式ハ引受及ヒ讓受ニ因リテ取得ス引受ハ會社發起人ノ作成セル株式申込證

受又ハ讓

株式ノ喪失

株主總會
集會及ヒ
議決

四〇〇

ニ引受クヘキ株式ノ數ヲ記載シ之ニ署名スルヲ方法トス株式ノ讓渡ハ株式會社カ資本ヲ重スルノ結果トシテ自由ナルヲ原則トス定款ニ別段ノ定ナキ以上ハ會社ノ承諾ナクシテ之ヲ讓渡スコトヲ得株式喪失ノ原因ニ付キ特ニ一言スヘキハ株金拂込義務ノ不履行ナリ株主カ株金拂込期日ニ拂込ヲ爲ササルトキハ會社ハ更ニ期限ヲ定メテ催告スルコトヲ得尙ホ其期間内ニ拂込ヲ爲ササルトキハ株主ハ當然其權利ヲ失フモノトス

第三 株式會社ノ機關

株式會社ノ機關ヲ株主總會、取締役及ヒ監督役トス株主總會ニハ定時總會ト臨時總會トアリ其招集ノ條件及ヒ手續ハ一ニ法律ノ定ムル所ニ依ル其議決ニハ通常多數決、特別多數決ノ二様アリ通常多數決ハ定款ニ別段ノ定ナキトキ總會ニ出席シタル株主ノ議決權ノ過半數ニ依リテ定ムルモノナリ特別多數決ハ定款ノ變更及ヒ任意解散等ノ場合ニ必要ナルモノニシテ總株主ノ半數以上ニシテ資本ノ半額以上ニ當ル株主出席シ其議決權ノ過半數ニ依リテ定ムルモノナリ株主ノ議決權ハ通常一株ニ付キ一箇トスレトモ十一株以上ヲ有スル株主ノ

取締役及
ヒ監査役

議決權ハ定款ヲ以テ之ヲ制限スルコトヲ得取締役及ヒ監査役ハ株主總會ニ於テ株主中ヨリ選任シ取締役ノ定員ハ三人以上トシ其任期ハ三年ヲ超ユルコトヲ得ス監査役ニハ別ニ定員ナク又其任期ハ一年トス取締役ハ即チ會社ノ業務執行ニ任スル者ニシテ各自會社ヲ代表シ裁判上及ヒ裁判外ニ於ケル一切ノ行為ヲ爲スノ權限ヲ有シ株主總會ノ認許ヲ經ルニ非サレハ會社ノ營業ノ部類ニ屬スル商行爲ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル會社ノ無限責任社員タルコトヲ得ス監査役ハ取締役ノ業務執行ヲ監督シ其他一切會社ノ利益ヲ保護スル者ニシテ此目的ノ爲メニ取締役ニ對シテ營業ノ報告ヲ求メ財産ノ狀況ヲ調査シ必要ト認ムル場合ニハ株主總會ヲ招集スルコトヲ得又取締役カ株主總會ニ提出セントスル書類ヲ調査シ株主總會ニ其意見ヲ報告スルコトヲ要ス

第四 會社關係

株式會社ハ資本ニ重キヲ置クノ結果トシテ合名會社、合資會社ニ於ケル如キ關係ナシ會社カ株主及ヒ第三者ニ對スル關係トシテ法律ニ特ニ規定セラルルモノハ會社ノ計算及ヒ社債募集トス會社ノ計算トハ會社ノ收入支出ヲ明ニシ利

會社ノ計
算

益、若クハ、利息、ノ、配當、ヲ、爲ス、ハ、關係、ヲ、總稱、ス、利益、ノ、配當、ハ、會社、事業、ノ、利益、ヲ、株主、ノ、權利、ニ、應シテ、分配、スル、所以、ニシテ、會社、ト、株主、ト、ノ、關係、ニ、止レトモ、之、ニ、依リテ、會社、ノ、基礎、ヲ、危ク、スル、カ、如キハ、商業、上、ノ、信用、ニ、關スル、コト、大ナリ、故、ニ、利益、ノ、配當、ヲ、爲ス、ニ、ハ、會社、ノ、損失、ヲ、填補、シ、且、一定、ノ、準備、金、ヲ、積立、テ、タル、後、ニ、於テ、スル、コト、ヲ、要ス、利息、ノ、配當、ハ、會社、ノ、開業、以前、ニ、株金、ノ、利息、ヲ、分配、スル、所以、ニシテ、鐵道、海運、築港、掘割、等、容易、ニ、開業、ニ、至ラサル、事業、ヲ、目的、ト、スル、會社、ニ、於テ、特ニ、之、ヲ、爲ス、コト、ヲ、得而シテ、其、利率、ハ、法定、利率、ヲ、超ユル、コト、ヲ、得ス、社債、トハ、會社、ノ、事業、執行、ノ、必要、上、一時、募集、スル、所、ノ、負債、ニシテ、其、募集、ニ、應シタル、者ハ、純然、タル、會社、ノ、債權、者、ナリ、故、ニ、會社、ノ、利益、ノ、有無、ニ、拘ラス、一定、ノ、利息、ヲ、請求、シ、又、其、債權、ノ、辨濟、ヲ、請求、スル、ノ、權利、ヲ、有ス、而シテ、社債、ハ、通常、株式、ノ、如ク、證券、ニ、依リテ、之、ヲ、代表、シ、其、流通、ヲ、自由、ナラシム、社債、券、ト、ハ、即チ、是レ、ナリ、社債、ハ、一時、運轉、資金、ノ、增加、ヲ、來ス、ノ、ミ、ニシテ、之、カ、爲メ、會社、財産、ノ、增加、ヲ、生スル、コト、ナシ、資本、ノ、增加、ハ、則チ、之、ト、異ナリ、其、會社、財産、ノ、增加、ヲ、生スル、所以、ノ、モノ、ナル、カ、故、ニ、法律、ハ、妄ニ、之、ヲ、許サス、株金、全額、拂込、ノ、後、ニ、於テ、シ、且、新株、募集、ノ、

社債ノ性質

社債券

會社資本ノ増減

方法、ニ、依ラサレハ、之、ヲ、行フ、コト、ヲ、得ス、又、其、定款、ノ、變更、ニ、屬スル、ヲ、以テ、株主、總會、ノ、特別、多數、ノ、議決、ヲ、要シ、其他、法律、上、必要、ノ、手續、ヲ、悉ス、ヘキ、コト、ハ、言フ、俟タス、會社、資本、ノ、減少、モ、亦、同シク、定款、ノ、變更、ナリ、然レトモ、法律、ハ、減少、ノ、時期、方法、ニ、付キテ、ハ、別ニ、干涉、セス、一ニ、之、ヲ、株主、總會、ノ、議決、ニ、任ス、但、債權、者、ヲ、害セサル、カ、爲メ、ニ、必要、ナル、一定、ノ、條件、ハ、之、ヲ、充ササル、ヘカラス、

第五 解散

株式會社ノ解散ニモ亦任意ノモノト不任意ノモノトアリ任意解散ノ原因ハ(一)存立時期ノ滿了其他定款ニ定メタル事由ノ發生(二)合併(三)株主總會ノ議決トシ不任意解散ノ原因ハ(一)會社ノ目的タル事業ノ成效又ハ成效ノ不能(二)破産(三)裁判所ノ命令(四)株主カ七人未滿ニ減シタルトキトス而シテ合併及ヒ破産ニ依ルノ外總テ會社解散ノ場合ニハ定款ノ別段ノ定ニ從ヒ又ハ株主總會ニ於テ特別ノ清算人ヲ選定セサル限ハ取締役ハ當然清算人ト爲リ清算ニ必要ナル一切ノ事務ヲ行セサルヘカラス

株式會社ノ解散原因

第四節 株式合資會社

株式合資會社

株式合資會社ノ便益

株式合資會社 Société en commandite par actions, Kommanditgesellschaft auf Aktien、無限責任社員ト株主トヲ以テ組織スル會社ニシテ責任ノ限度ヲ異ニスル二種ノ社員ヲ認ムルコト合資會社ト同シト雖モ其有限責任カ株式ニ依リテ定マルハ又其合資會社ト異ナル所トス抑モ合資會社ニ於テハ無限責任社員ハ勿論有限責任社員モ亦其持分ヲ讓渡スニ方リテ一定ノ制限ヲ受ケ株主カ其株式ヲ讓渡スカ如ク自由ナラス而シテ株式合資會社ハ實ニ此自由ヲ認ム又株式會社ニ於テハ會社ノ代表者タル取締役ハ會社ノ盛衰ニ關シ痛痒ヲ感スルコト切ナラス往往事務ノ熱心ヲ缺キテ株主ノ不利益ヲ來スコトアリ而シテ株式合資會社ハ則チ其無限責任社員ヲ以テ取締役ノ位置ニ當ラシム乃チ株式合資會社ハ合資會社ト株式會社トノ利益ヲ集メテ之ヲ組織シタルモノニシテ時勢ノ須要ニ應シテ其設立ヲ見ルコト益多シ我邦ニ於テモ舊商法ハ此種類ノ會社ヲ認メサリシカ新商法ハ佛獨諸國ノ立法ニ倣ヒ新ニ之ニ關スル規定ヲ設ケタリ

株式合資會社ニ特別ナル規定

株式合資會社ハ其性質上同時ニ合資會社ノ規定ト株式會社ノ規定トヲ準用セラルルモ亦自ラ特別ノ規定ナキヲ得ス今其主要ナルモノヲ見ルニ株式合資會社ノ無限責任社員ハ盡ク發起人ト爲リテ株主ヲ募集スヘキコト是レ其一ナリ故ニ株式會社ニ於ケル如ク發起人カ自ラ株式ノ全部引受ヲ爲スコトヲ得ス創立總會ニ於テハ單ニ監査役ヲ選任スルノミニシテ取締役選任ノ必要ナキコト是レ其二ナリ何トナレハ株式合資會社ノ無限責任社員ハ當然業務執行ノ權利ヲ有スレハナリ而シテ此ニ一言注意ヲ要スルハ創立總會ハ要スルニ株主總會タルノ結果トシテ無限責任社員ハ之ニ出席シテ意見ヲ述フルコトヲ得ルモ其議決ニ加ハルヲ得サルノ一事トス監査役ハ無限責任社員ヲシテ株主總會ノ決議ヲ執行セシムルノ責ニ任ス是レ株式合資會社ニ特別ナル規定ノ三ナリ蓋シ株主總會ハ株式會社ニ於ケルカ如ク會社ノ最高ノ機關ニ非ス從ヒテ其決議ハ直ニ無限責任社員ヲ拘束スルヲ得ス更ニ無限責任社員ノ一致又ハ多數決ヲ得テ始メテ其效力ヲ生スルヲ以テ若シ其間ニ立チテ決議ノ執行ヲ確實ニスルノ責ニ任スル者ナクハ株主總會ノ決議ハ往往其實ナキニ至ラン是レ法律カ監査

役ニ此責任ヲ負ハシムル所以ナリ

第三章 商行爲

商行爲ノ
主義

商法ノ定
ムル商行
爲

(一)絕對
的商行爲

實質上ヨリ觀ルトキハ商行爲ノ意義甚簡ナリ何トナレハ商事ニ關スル法律行爲ヲ總稱スルニ過キサレハナリ然レトモ我立法者ハ商行爲ノ種類ヲ列舉シタルヲ以テ我商法ノ解釋トシテハ之ヲ形式上ノ意義ニ於テ觀察セサルヘラカス今其種類ヲ別テハ左ノ如シ

(一) 絕對的商行爲 何人カ之ヲ行フヲ問ハス其行爲ノ性質上當然商行爲ト爲ルモノヲ絕對的商行爲ト謂フ又之ヲ客觀的商行爲ト稱スルモ可ナリ商法カ此種類ノ商行爲トスルモノニ四種アリ

(イ) 利益ヲ得テ讓渡スルノ意思ヲ以テスル動產不動產若クハ有價證券ノ有價取得又ハ其取得シタルモノノ讓渡ヲ目的トスル行爲 例ヘハ或ル物品ヲ轉賣スルノ意思ヲ以テ買入ルルトキハ其買入モ又其轉賣モ共ニ絕對的商行爲ト爲ル
(ロ) 他人ヨリ取得スヘキ動產又ハ有價證券ノ供給契約及ヒ其履行ノ爲メニス

ル有價取得ヲ目的トスル行爲 供給契約ハ未タ自己ノ手ニ存在セサル物品ノ讓渡ノ契約ニシテ其物品ハ他人ヨリ取得スヘキモノタルヲ要スルカ故ニ先占ニ依リ又ハ自己ノ製造ニ係ル物品ノ如キハ供給契約ノ目的ト爲ラス而シテ此供給契約ノ場合ニハ契約其物モ又其契約履行ノ爲メニスル物品ノ買入モ共ニ絕對的商行爲ト爲ル

(ハ) 取引所ニ於テスル取引 是レ取引所ニ於ケル特別ノ商行爲ニシテ取引所法ニ規定セラル

(ニ) 手形其他ノ商業證券ニ關スル行爲 爲替手形約束手形小切手ハ勿論貨物引換證船荷證券倉荷證券保險證券其他ノ證券ヲ發行シ又ハ裏書讓渡ヲ爲スカ如キ行爲ハ皆之ニ屬ス

(二) 相對的商行爲 行爲其物ノ性質ハ商行爲ニ屬セサレトモ之ヲ營業トシテ爲ス場合ニハ商行爲ト爲ルモノアリ之ヲ相對的商行爲ト謂ヒ又或ハ之ヲ主觀的商行爲ト謂フ此種類ノ商行爲ハ甚多シ一之ヲ舉ケス唯茲ニ一言スヘキハ單ニ營業トスルノ一事ヲ以テ直ニ商行爲トスルヲ得サル行爲アルコト是レ

(二)相對
的商行
爲

ナリ乃チ賃錢ヲ得ルノ目的ヲ以テ物ヲ製造シ又ハ勞務ニ服スル者ノ行爲ハ商行爲ニ必要ナル射利ノ觀念ナキノミナラス實際之ヲ商行爲トシテ嚴密ナル規定ヲ適用スルノ必要ナシ故ニ假令ヒ之ヲ營業トスル場合ニモ法律ハ之ヲ商行爲ト看做サス

(三)附屬的商行爲

(三) 附屬的商行爲 商人カ營業ノ爲メニスル行爲ハ如何ナル性質ノモノタルヲ問ハス總テ之ヲ商行爲トス是レ其營業ニ附屬スルカ爲メニ法律上當然商行爲ト爲ルモノニシテ之ニ對シテハ商行爲タラサルノ反證ヲ許サス

(四)推定的商行爲

(四) 推定的商行爲 法律ハ商人ノ爲シタル行爲ヲ以テ其營業ノ爲メニシタルモノト推定ス故ニ商人ノ行爲ハ法律上一般ニ商行爲ナリトノ推定ヲ受ク反證アルニ非サレハ之ヲ商行爲ニ非ストセス

商行爲ニ關スル商法適用ノ範圍

以上說述セル所ヲ以テ我商法カ商行爲トスルモノ即チ形式上ノ意義ニ於ケル商行爲ハ略明白ナルヘシ而シテ或ル行爲ハ當事者雙方ニ於テ商行爲ト爲ルコトアリ又一方ニ對シテノミ商行爲ト爲ルコトアリ例ヘハ一ノ米穀商カ他ノ米穀商ニ卸賣ヲ爲ス場合ハ當事者雙方ニ於テ商行爲アレトモ余カ食用ノ爲メニ

各種ノ持別商行爲

米穀ヲ買フハ商人ニ於テノミ商行爲ト爲リ余ハ商行爲ヲ爲シタルニ非ス故ニ余カ米穀ヲ買ヒタル行爲ハ理論上民法ノ適用ヲ受クヘク商法ノ規定ニ從フヘキモノニ非ス然レトモ單一ノ行爲ヲ分割シテ法律ノ適用ヲ異ニスルハ頗ル不便ナルヲ以テ商法ハ當事者ノ一方ノ爲メニ商行爲タル行爲ニ付キテハ其規定ヲ雙方ニ適用スルコトトセリ

凡ソ諸種ノ商行爲中一般ノ規定ノ外更ニ特別ノ規定ヲ要スルモノアリ其商法ニ掲ケラレタルモノハ賣買交互計算匿名組合仲立營業問屋營業運送取扱營業運送營業寄託及ヒ保險ノ九種トス賣買ニ就キテハ既ニ民法ニ述ヘタリ其商行爲タルハ唯射利ノ元素ヲ含ムモノニ限ル故ニ更ニ說明ヲ加フルヲ要セス其他ノ商行爲ニ關シテハ多少ノ說明ヲ要ス

第一、交互計算

第一 交互計算

交互計算 Comptes courants, laufende Rechnung トハ商人間又ハ商人ト非商人トノ間ニ平常取引ヲ爲ス場合ニ於テ一定ノ期間内ノ取引ヨリ生スル債權債務ノ總額ニ付キ相殺ヲ爲シ其殘額ノ支拂ヲ爲スノ契約ナリ故ニ交互計算ハ三様ノ效力ヲ

交互計算ノ效力

生ス計算組入相殺及ヒ殘額支拂是レナリ當事者カ契約ニ因リテ各自ノ債權債務ヲ計算ニ組入ルルトキハ其債權債務ハ獨立ノ存在ヲ失ヒテ不可分關係ト爲ル即チ當事者ハ各箇ノ債權ニ因リテ權利ヲ行ヒ義務ヲ負フコトナク其總額ニ付キテ相殺シ尙ホ殘額アルトキハ不可分關係ヲ離レテ別ニ殘額支拂ノ債務ヲ生スルナリ

四一〇

第二、匿名組合

第二 匿名組合

匿名組合 Anonymous association, association en participation, stille Gesellschaft トハ當事者ノ一方カ他ノ一方ノ營業ノ爲メニ出資ヲ爲シ其營業ヨリ生スル利益ヲ分配スルノ契約ナリ其營業ヲ爲ス者ヲ營業者ト稱シ其出資ヲ爲ス者ヲ匿名組合員ト稱ス而シテ營業者ハ即チ自己ノ名ヲ以テ營業スル者ナレハ之ニ對スル匿名組合員ノ出資ハ民法上ノ組合又ハ會社ニ於ケル出資ト其趣ヲ異ニシ其出資ハ營業者ノ財産ニ歸シ匿名組合員ハ其營業ニ與カルコトナク又從ヒテ營業者ノ行爲ニ付キ第三者ニ對シテ責任ヲ負フコトナシ

第三、仲立營業

第三 仲立營業

仲立ノ性質

他人間ノ商行爲ヲ媒介スルヲ仲立 Brokerage, courtage, Maklergewerbe ト謂ヒ之ヲ業トスル者ヲ仲立人ト謂フ單ニ他人間ノ商行爲ト云フカ故ニ其商行爲ハ商人カ之ヲ爲スト非商人カ之ヲ爲ストヲ問ハス又媒介ト云フカ故ニ當事者ノ意思ヲ傳達スルニ止リ之ニ對シテ代理關係ヲ生スルコトナシ是レ通常仲立人カ其媒介ヲ爲ス行爲ニ付キ當事者ノ一方若クハ雙方ノ支拂其他ノ給付ヲ受クルコトヲ得サル所以ナリ仲立人ノ義務ハ要スルニ其媒介スル行爲ヲ完了セシムルニ在リ從ヒテ其行爲ニ付キ受取リタル見本ヲ保管シ又行爲成立シタルトキハ遲滯ナク一定ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ作り之ヲ各當事者ニ交付スル等ノ義務アリ又其權利ハ其媒介シタル行爲ニ付キ報酬ヲ請求スルニ在リ而シテ當事者ハ雙方ニ平分シテ之ヲ負擔スヘキモノトス

仲立人ノ權利及ヒノ義務

第四 問屋營業

問屋 Commission agency, commission, Kommissionsgeschäft トハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ物品ノ販賣又ハ買入ヲ爲ス者ヲ謂フ即チ商行爲ノ取次ヲ爲ス者ニシテ他人ノ爲メニ爲シタル販賣又ハ買入ニ依リ自ラ權利ヲ得義務ヲ負フ故ニ仲立人

第四、問屋營業ノ性質

ノ如ク單ニ他人間ノ商行爲ヲ媒介スルモノト同シカラス而シテ問屋ト委託者トノ間ニハ純然タル委任及ヒ代理ノ關係ナキモ法律ハ其關係ノ規定ヲ準用スルコトトセリ

委託者ノ權利

委託者ノ權利ハ問屋ヲシテ其目的タル行爲即チ物品ノ販賣又ハ買入ヲ爲サシムルニ在リ而シテ若シ問屋カ委託ニ反シテ其行爲ヲ爲シタルトキハ委託者ハ其結果ヲ引受クルノ義務ナキヲ通則トス唯問屋カ委託者ノ指定シタル金額ヨリ廉價ニ販賣シ又ハ高價ニ買入レタル場合ニ於テ問屋カ其差額ヲ負擔スルトキハ委託者ニ於テ別ニ損害ナキヲ以テ其販賣又ハ買入ハ委託者ニ對シテ效力ヲ生ス又委任ノ原則ニ於テハ受任者ハ相手方カ債務ノ履行ヲ爲ササルモ之ヲ擔保スルノ義務ナケレトモ問屋ハ相手方ノ債務不履行ノ場合ニ自ラ其履行ヲ爲スノ責ニ任ス蓋シ舊來ノ慣習ニ本ツケル特例ナリ問屋ノ權利ハ其委託者ノ爲メニ爲シタル行爲ニ付キ報酬ヲ求ムルニ在リ又其行爲ノ爲メニ要シタル費用立替金等ニ付キテハ償還ヲ求ムルノ權利アルコト固ヨリ言ヲ俟メス

問屋ノ權利

第五、運送取扱業

第五 運送取扱業

自己ノ名ヲ以テ物品運送ノ取次ヲ爲スヲ運送取扱 Forwarding agency, commission en transport, Speditionsgeschäft ト謂ヒ其取次ヲ業トスル者ヲ運送取扱人ト謂フ故ニ運送取扱人ハ商行爲ノ取次ヲ爲ス點ニ於テハ問屋ト其性質ヲ同クシ又法律ノ規定モ大抵準用セラル唯其取次ノ目的カ物品ノ運送ニ關スルト其賣買ニ關スルトノ差アルノミ

第六 運送業

廣ク運送ト云フトキハ人若クハ物ヲ一ノ場所ヨリ他ノ場所ニ移スノ意ニシテ其方法及ヒ場所ノ如何ヲ問ハス然レトモ此ニ運送 Carriage, transport, Frachtgeschäft ト云フハ之ト異ナレリ商法第三百三十一條ニ運送人トハ陸上又ハ湖川港灣ニ於テ物品又ハ旅客ノ運送ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フトアリ故ニ運送ノ方法ハ人畜ノ力ニ依ルト蒸氣又ハ電氣等ノ力ニ依ルトヲ問ハサレトモ運送ノ場所ハ陸上又ハ湖川港灣ニ限リ海上ヲ含マス何トナレハ海上ノ運送ハ別ニ海商ニ關シテ之ヲ規定スレハナリ而シテ運送ハ其目的ノ差異ニ依リ物品運送ト旅客運送トノ二種ニ分ツ唯旅客ノ手荷物ハ旅客ニ追隨スヘキモノナルヲ以テ假令ヒ

第六、運送業及ヒノ種類

物品運送
人ノ權利
及ヒ義務

貨物引換
證

旅客運送
人ノ權利
及ヒ義務

運送人カ其引渡ヲ受ケタルトキモ之ヲ物品運送ト看做サス通常手荷物ニ付キテ運送貨ヲ請求スルコトナキハ之カ爲メナリ

物品ノ運送人ハ運送品ノ受取引渡保管及ヒ運送ニ關シテ相當ノ注意ヲ爲スハ義務ヲ負ヒ若シ其注意ヲ怠リテ運送品ヲ滅失毀損シ又ハ其引渡ヲ遲滯シタルトキハ一定ノ損害賠償ノ責ニ任セサルヘカラス又運送人ハ荷送人ノ請求ニ因リ貨物引換證 Bill of lading, bulletin de chargement, Ladeschein ヲ交付スルノ義務アリ

貨物引換證ハ一種ノ有價證券ニシテ管ニ之ト引換ニ運送品ノ引渡ヲ得ルノミナラス之ニ依リテ運送品ヲ順次讓渡シ以テ金融ヲ便ニスルノ效用アルモノトス

運送人ノ權利ハ運賃證券ノ權利及ヒ運送品供託ノ權利ヲ主トス運送品供託ノ權利ハ荷受人ヲ確知スルコトヲ得ス又ハ荷受人カ受取ヲ拒ミタル場合等ニ於テ生ス旅客運送ニ於テモ運送人カ相當ノ注意ヲ以テ旅客ノ安全ヲ計ルハ義務ヲ負フコトハ物品運送ト異ナルナシ唯旅客運送ニ於テハ荷受人アルコトナク從ヒテ運送人ノ不注意ヨリ生スル損害賠償ハ其運送ノ目的タル旅客ニ對シテ之ヲ爲ササルヘカラス而シテ旅客ノ運送人カ旅客ノ手荷物ヲ引渡サレタル

トキハ特ニ運送貨ヲ請求セザリシトキト雖モ物品ノ運送人ト同一ノ責任ヲ負フモノトス

第七 寄託

第七、寄託ノ種類

商法上ノ寄託ニハ寄託其物ヲ營業トスル場合ト商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ寄託ヲ受ケル場合トアリ素ヨリ共ニ有價ナルヲ原則トス唯後者ノ場合ニハ或ハ報酬ヲ受ケサルコトアルノミ寄託ヲ營業トスル者ノ中ニ就キテ法律カ特ニ規定ヲ爲シタルハ倉庫營業者ナリ倉庫營業者トハ他人ノ爲メ物品ヲ倉庫ニ保管スルヲ業トスル者ニシテ寄託ニ關スル一般ノ權利義務ノ外寄託者ノ請求ニ因リ一定ノ證券ヲ交付スルノ義務ヲ負フ其證券ニ二種アリ一ヲ預證券 Recépissés de dépôt, Lagerschein ト云ヒ一ヲ質入證券 Warrant, Pfandschein ト云フ共ニ或ハ物品移轉ノ便ヲ與ヘ或ハ質入ノ目的ニ供セラルルモノニシテ通常指圖證券ノ一種トシテ裏書ニ依リ讓渡サル其記名式ヲ以テ作成セラレタル場合ト雖モ尙ホ裏書讓渡ヲ妨ケス故ニ倉庫營業者ト證券所持人トノ間ニ於テハ證券ハ絶對的ニ效力ヲ有シ寄託ニ關スル一切ノ處分ハ證券ニ依ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ

倉庫營業

倉庫營業

得ス又寄託物品ノ返還ハ證券ト引換ニ非サレハ之ヲ請求スルコトヲ得サルモ
ノトス

第八 保險

第八、保
險ノ意

保險成立
ノ三要素

保險 Insurance, assurance, Sicherheit トハ當事者ノ一方カ或ル危險ノ發生ニ對シテ相
手方ノ利益ヲ擔保シ相手方カ之ニ對シテ報酬ヲ與フル契約ニシテ其商行爲ト
爲ルハ常ニ報酬ヲ受クル者即チ保險者ノ方面ニ於テス其契約ノ成立ニハ危險
利益及ヒ報酬ノ三要素ヲ必要トス危險トハ損害ヲ生スヘキ一定ノ事實ニシテ
其事實ハ偶發不確定ノモノタルヘキハ論ナシト雖モ尙ホ其保險ノ目的タルコ
トヲ得ルニハ多數者カ之ニ遭遇シ且統計ニ依リテ算出セラルヘキモノニ限ル
トスルハ一般ニ認ムル所ノ觀念ナリ利益ハ即チ保險ノ目的ニシテ其利益ハ現
存ノモノタルト豫測ノモノタルトヲ問ハス契約取結ノ時ニ於テ確定ナルコト
ヲ要ス然ラスンハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ス報酬ハ即チ危險ノ對價ニシテ
所謂保險料是レナリ

保險ノ種
類

保險ノ種類ヲ大別シテ損害保險及ヒ生命保險ノ二トス損害保險ハ一定ノ事故

ニ因リテ生スヘキ損害ヲ填補スルヲ目的トスルモノニシテ其事故ニ從ヒ又之
ヲ幾種類ニモ細別スルコトヲ得レトモ我商法ニ特別ノ規定ヲ設ケタルハ唯火
災保險運送保險ノ二トス生命保險ハ人ノ生死ニ關シ一定ノ金額ヲ授受スルヲ目
的トスルモノニシテ人ノ生死ハ要スルニ一定ノ危險ナルコトハ論ナキモ其保
險ハ損害填補ノ意ニ於テセスシテ唯金額ノ金錢ヲ授受スルニ在リ而シテ此生
命保險モ亦危險ノ種類保險料支拂ノ方法等ニ依リテ種種ノ區別ヲ佐ス尋常終
身有期養老子女教育婚姻徵兵等今日實際ニ行ハルル保險ノ種類甚多シ

保險ノ效
力

被保險者
ノ義務

保險者ノ
義務

廣ク保險ノ效力ヲ考フレハ保險者ニハ一定ノ利益ヲ擔保スルノ義務ヲ生シ被
保險者ニハ之ニ對スル報酬ヲ支拂フノ義務ヲ生スト云フヲ以テ足ル尙ホ之ヲ
解説スレハ被保險者ノ義務ニハ保險料支拂ノ義務被保險利益保全ノ義務及ヒ
通知ノ義務アリ保險料ノ支拂ニ付キテハ説明ノ要ナシ被保險利益ノ保全トハ
危險ノ發生ヲ促スヘキ所爲ヲ爲ササルノ謂ニシテ例ヘハ火災ノ消防ヲ爲サス
疾ノ治療ヲ施ササルカ如キハ被保險者ノ義務ニ反ス通知ノ義務ハ保險繼續中
又ハ危險發生後ニ必要ノ事項ヲ保險者ニ通知スルニ在リ保險者ノ義務ハ利益

保險證券

擔保ノ義務及ヒ保險證交付ノ義務トス損害保險ニ在リテハ危險ノ發生ニ因ル損害ヲ填補シ生命保險ニ在リテハ一定ノ金銭ヲ支拂フハ利益擔保ノ義務ナリ保險證券ハ被保險者ノ請求ニ依リテ保險者カ之ヲ交付スルコトヲ要スル證券ニシテ又是レ商業證券ノ一種ニ屬ス

第四章 手形

第一 手形ノ性質及ヒ種類

手形ノ性質

手形 Bill, billet, Wechsel トハ一定ノ金額カ無條件ニテ支拂ハレ之ニ署名シタル者カ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ所ノ證券ナリ故ニ手形債權ノ目的ハ定額ノ金銭ナルコトヲ要ス物件又ハ不定額ノ金銭例ヘハ米何俵又ハ金若干圓外利息若干ト云フカ如キハ以テ手形債權ノ目的トスルコトヲ得ス又手形ハ無條件ニテ支拂ハルルコトヲ要ス例ヘハ手形資金ヲ受取リタル後ニ支拂フヘシト云ヒ又ハ爲替ノ費用ヲ差引シテ支拂フヘシト云フカ如キハ手形ノ性質ト相反ス又手形ハ方式ヲ貴フノ結果トシテ一般ノ原則ニ反シ手形ニ署名シタル者ニ其文言ニ從

手形ノ種類

ヒテ責任ヲ負ハシム故ニ其文言カ實際ノ事實ト符合セサルトキニ於テモ又偽造變造ノ手形ナルトキニ於テモ善意ノ者ニ對シテハ其手形ハ有效ナリ又他人ノ代理トシテ手形ヲ振出シ又ハ裏書ヲ爲シタル者モ其代理トシテ爲シタルコトヲ記載セサル場合ニハ本人ハ手形上ノ責任ヲ負フコトナク代理人自ラ其責任ヲ負ハサルヘカラス
手形ヲ分チテ爲替手形 Bill of exchange, lettre de change, gezogene Wechsel 約束手形 Pro-missory note, billet de change, eigene Wechsel 及ヒ小切手 Chèque, chek ノ三種トス手形ノ發行者カ自ラ支拂ヲ爲スコトヲ約スルトキハ約束手形ト爲リ自ラ支拂ヲ爲サス第三者ニ委託シテ之ヲ爲サシムルトキハ或ハ爲替手形ト爲リ或ハ小切手ト爲ル

第二 手形ノ振出

振出ノ意義

手形ノ振出 Drawing, emission, Ausstellung トハ手形債權ヲ發生スルノ行爲ニシテ其振出ヲ爲ス者ヲ振出人ト云ヒ振出ヲ受クル者ヲ受取人ト云フ約束手形ニ於テハ此二人ノ當事者ヲ以テ足レトモ爲替手形及ヒ小切手ニ於テハ此外尙ホ支

振出ノ條

必要ノ記
載事項

附隨ノ記
載事項

拂ノ委託ヲ受クル者アルコトヲ要ス之ヲ支拂人ト謂フ
 手形上ノ債權ハ無條件ノ債權ニシテ唯手形ニ記載シタル事項ニ依リテ效力ヲ
 有スルモノナレハ之カ振出ヲ爲スニハ一定ノ事項ヲ記載シ之ニ署名スルヲ必
 要トス其事項ハ(一)手形文字即チ爲替手形約束手形小切手タルコトヲ表示スヘ
 キ文字(二)一定ノ金額(三)支拂人ノ氏名又ハ商號(但約束手形ニハ此記載ヲ要セス)
 受取人ノ氏名又ハ商號(四)單純ナル支拂ノ委託約束手形ニ於テハ單純ナル支拂
 ノ約束(五)振出ノ年月日(六)一定ノ満期日(七)支拂地是レナリ尙ホ此等ノ事項以外
 振出人カ附隨ノ記載ヲ爲スコトヲ得ルモノアリ豫備支拂人支拂擔當者支拂ノ
 場所等はレナリ手形ノ引受又ハ支拂ヲ拒絶セラルル場合ニ支拂人以外ノ者ヲ
 シテ其引受又ハ支拂ヲ爲サシムルコトアリ之ヲ豫備支拂人ト謂フ是レ爲替手
 形ニ特有ノ事ナリ爲替手形及ヒ約束手形ノ振出人ハ其手形カ他所拂ナルトキ
 ハ支拂人以外ノ者ヲシテ支拂擔當者タラシムルコトヲ得他所拂手形トハ手形
 ノ支拂地カ支拂人ノ住所地ト異ナルモノナリ支拂ノ場所ハ支拂地ト同シカラ
 ス支拂地ハ支拂ヲ爲スヘキ一定ノ地域(市町村)ニシテ支拂ノ場所ハ支拂人ノ住

自己指圖
手形及ヒ
宛手

手形ノ復
本及ヒ
本

所又ハ營業所等實際支拂ヲ爲ス場所ナリ爲替手形及ヒ約束手形ノ振出人ハ手
 形ニ其支拂地ニ於ケル支拂ノ場所ヲ記載スルコトヲ得
 手形ノ振出人ト受取人及ヒ支拂人トハ別人タルヲ通常トス何トナレハ振出人
 カ自己ニ對シテ手形上ノ債務ヲ負擔スルノ理ナケレハナリ然レトモ手形ノ種
 類ニ依リテハ此通則ノ爲メ却テ經濟上ノ不便ヲ生スルコト少カラス故ニ例ヘ
 ハ振出人カ支拂人ノ住地ニテ信用ヲ有セス又ハ支拂カ確實ナラサル場合又ハ
 振出人カ諸地ニ營業所ヲ有スル場合等ニ於テハ爲替手形ニ限リ振出人ハ自己
 ヲ受取人又ハ支拂人トシテ之ヲ振出スコトヲ得自己指圖手形又ハ自己宛手形
 ト稱スルハ即チ此種ノ爲替手形ナリ
 手形ハ通常一箇ノ支拂ニ對シテ一通ヲ作ルモノナレトモ時トシテハ安全又ハ
 便宜ノ爲メニ數通ヲ作ルコトアリ例ヘハ交通不便ナルカ爲メ又ハ郵便ノ延着
 若クハ紛失ノ恐アルカ爲メ第一便ニテ一通ヲ振出シ次便ニテ他ノ一通ヲ振出
 スカ如キ又ハ一通ヲ引受ノ爲ニ支拂人ニ送り他ノ一通ヲ流通セシムルカ如キ
 ハ然リ之ヲ手形ノ復本ト稱ス復本ノ各通ニハ其復本タルヘキコトヲ示スヘキ

文字ヲ必要トス若シ其文字ナキトキハ其各通ハ獨立シタル手形トシテ效力ヲ生ス此他尙ホ手形ノ謄本ト稱スルモノアリ手形ノ所持人ハ何時ニテモ之ヲ作成スルコトヲ得而シテ謄本ノ裏書又ハ保證ハ原本ニ於テ之ヲ爲シタルト同一ノ效力ヲ有スレトモ引受ハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三 手形ノ裏書

手形ノ流通ハ通常裏書ニ依ル裏書 Indorsment, endorsement, Indossament トハ手形上ノ債權者カ振出人ノ指圖ニ從ヒテ新債權者ヲ指圖スル方法ニシテ手形ノ裏面ニ其旨ヲ記載スルカ故ニ之ヲ裏書ト稱スト雖モ裏面ニ記載スルノ餘地ナキトキハ附箋ニ於テスルヲ妨ケス手形カ無記名ナル場合ニハ最初ヨリ裏書ヲ要セス又裏書人カ署名ノミヲ以テ讓渡ヲ爲シタル場合ニハ爾後裏書ヲ爲スノ必要ナク唯引渡ノミヲ以テ讓渡ヲ爲スコトヲ得又反對ノ記載即チ手形面ニ裏書ヲ禁スル旨ノ記ヲ爲ス場合ニハ裏書讓渡ヲ爲スコトヲ得ス

變體裏書

裏書ヲ要セス又ハ爲スヲ得サル場合

裏書ノ意

裏書ニハ尙ホ二様ノ變體アリ質入又ハ取立委任ノ爲メニスル裏書是レナリ質入裏書ハ手形上ノ權利ヲ質入スルカ爲メノ裏書ニシテ委任裏書ハ他人ニ委任

シテ手形上ノ權利ヲ行ハシムルカ爲メノ裏書ナリ此二種ノ裏書ニハ其目的ヲ附記スルコトヲ要ス若シ其附記ナキトキハ第三者ニ對シテ真正ノ讓渡裏書ト看做サルルモノトス

第四 手形ノ引受

引受ノ意

引受ノ呈示

手形ノ引受 Acceptance, reception, Annahme, トハ手形ノ支拂人カ振出人ニ對シテ其支拂ヲ承諾スルヲ謂フ蓋シ手形ノ振出人ハ唯支拂人ヲシテ手形ノ金額ヲ支拂ハシムルコトヲ約スルニ止リ支拂人カ果シテ之ヲ支拂フヤ否ヤハ満期日ニ至ルマテハ確定セス是故ニ所持人ハ満期日前ニ於テ其支拂ノ確實ヲ知ルノ必要アリ法律ハ此目的ノ爲メニ所持人ニ與フルニ支拂人ニ手形ヲ差出シテ其引受ヲ爲サシムルノ權利ヲ以テス之ヲ引受ノ呈示ト謂フ此ノ如ク引受ノ呈示ハ所持人ノ權利ニシテ其義務ニ非ス故ニ引示ヲ爲スト否トハ所持人ノ自由ナレトモ一覽後定期拂ノ手形ニ於テハ手形ノ日附後一定ノ期間内ニ呈示セサルヘカラス又他所拂手形ニ於テ振出人カ呈示ヲ爲スヘキ旨ヲ記載シタル場合ニハ所持人ハ之ニ依リテ引受ノ呈示ヲ爲スノ義務ヲ負フ

引受ノ拒

手形所持人カ手形ノ引受ヲ請求シタル場合ニ支拂人カ其引受ヲ爲ササリシトキハ之ヲ引受ノ拒絶ト謂フ此引受拒絶ノ場合ニハ所持人ハ拒絶證書 protest, Protest, Ablehnungsurkunde 作成ノ方法ニ依リテ振出人裏書讓渡人ニ對シ權利ノ保全ヲ爲スコトヲ得若シ引受ノ呈示ヲ爲スノ義務アル場合ニ引受ノ拒絶アリタルトキハ所持人ハ拒絶證書ヲ作ラサレハ擔保請求ノ權利ヲ失フモノトス

第五 手形ノ支拂

支拂ノ意

支拂ノ呈示

支拂ノ拒絶

手形ノ支拂トハ手形債務者カ其債務ヲ消滅セシムル方法ニシテ所持人ハ其手形ノ支拂ヲ得ント欲セハ支拂期日ニ至リテ支拂人ニ支拂ノ呈示ヲ爲シ手形ト引換ニテ其支拂ヲ受ケサルヲ得ス手形ノ支拂ハ固ヨリ滿期日ニ於テ之ヲ爲スヘキモノニシテ所持人モ滿期日前ニ支拂ヲ受クルノ義務ナク又支拂人ニ於テモ滿期日前ニ支拂ヲ爲シタルトキハ之カ爲メニ生スル危險ヲ負擔セサルヘカラス若シ支拂人カ正當ノ理由ナクシテ滿期日ニ支拂ヲ拒ミタルトキハ所持人ハ他ニ權利保全ノ手續ヲ爲スコトヲ得之ヲ償還請求權ト謂フ乃チ支拂拒絶證書ヲ作り振出人又ハ裏書讓渡人ニ對シテ償還請求ノ通知ヲ爲シ以テ手形金額

戻爲替ノ手形

ノ辨濟ヲ爲サシムルコトヲ得
償還請求ノ權利アル者カ償還義務者ヨリ直接ニ其償還額ヲ受取ルコトハ頗ル不便ナル場合少シトセス故ニ立法者ハ此場合ニ於テ一ノ便法ヲ認メタリ戻爲替手形ノ振出即チ是レナリ此手形ノ振出地ハ所持人カ振出ス場合ニ於テハ本手形ノ支拂地裏書人カ振出ス場合ニ於テハ其住所地タルコトヲ要シ支拂地ハ償還ヲ受クル者ノ住所タルコトヲ要ス而シテ一覽拂ノモノトスル外別ニ滿期日ヲ定ムルコトヲ得ス

第六 手形ノ保證及ヒ參加

手形保證ノ特質

保證ノ債務カ從タル債務ナルコトハ手形ノ保證ニ於テモ亦同シ然レトモ法律ハ手形ノ流通ヲ容易ナラシメンカ爲メニ寧ロ之ヲ獨立ハ債務ト看做セリ即チ保證ノ效力ヲ生スルニハ主タル債務ハ形式上ノ存在アルヲ以テ足ル故ニ例ヘハ主タル債務者ノ署名カ偽造ナリシカ爲メ又ハ主タル債務者カ無能力ナリシカ爲メ主タル債務カ無効ト爲リシ場合ニモ保證債務ハ有效ニシテ保證債務者ハ主タル債務者ト同一ノ責任ヲ負フ

參加ノ意

手形ハ支拂人カ之ヲ支拂フヲ以テ本旨トスルモ支拂人カ支拂ヲ爲サス又ハ爲スコトヲ得サル恐アルトキハ支拂人以外ノ者カ引受又ハ支拂ヲ爲シテ手形ノ信用ヲ維持シ以テ其不信用ヨリ生スル損失ヲ避クルコトアリ之ヲ參加 Intervention, Hilfschaft ト稱シ其引受ノ爲メニスルモノヲ參加引受ト云ヒ其支拂ノ爲メニスルモノヲ參加支拂ト云フ

普通ノ豫備支拂人

參加ハ手形上ノ債務者ノ委託ニ依ルモノト否トアリ手形上ノ債務者カ參加ヲ委託シタル者ハ之ヲ前ニ述ヘタル豫備支拂人トス而シテ普通ノ參加人ニ對シテハ手形所持人其參加ヲ拒ムコトヲ得レトモ豫備支拂人ハ手形振出ノ際既定リ手形ニ記載セラルルモノニシテ手形所持人ニ於テ其參加ヲ拒ムコトヲ得ス然レトモ一旦參加アリタル以上ハ其效力ハ一ナリ參加引受ノ效力ハ參加引受人ニ手形ノ満期日ニ於ケル支拂ノ義務ヲ負ハシメ被參加人及ヒ其後ノ償還義務者ニ擔保提供ノ義務ヲ免レシム參加支拂ノ效力ハ主トシテ手形所持人カ其前者ニ對スル償還請求權ヲ消滅セシメ從トシテ參加支拂人ニ引受人並ニ被參加人ニ對スル所持人ノ權利ヲ取得セシム

參加ノ效力

爲替手形ト約束手形トノ差異

第七 爲替手形ト約束手形トノ差異

以上廣ク手形ノ性質及ヒ流通ノ状態ヲ説ケリ尙ホ此ニ爲替手形ト約束手形トノ差異ヲ示シテ對比ニ便ナラシメン

- (一)爲替手形ト約束手形トハ其方式ヲ異ニス
- (二)爲替手形ト約束手形トハ其當事者ヲ異ニス即チ爲替手形ニハ振出人受取人及ヒ支拂人ノ三者アルヲ要スレトモ約束手形ニハ振出人受取人ノ外ニ支拂人ナシ從ヒテ支拂ノ約束アリテ支拂ノ委託ナク又從ヒテ豫備支拂人ナシ
- (三)爲替手形ニハ自己指圖又ハ自己宛ノ手形アレトモ約束手形ニハ此類ノ手形ナシ
- (四)爲替手形ニハ引受參加引受及ヒ引受拒絕ノ場合ノ擔保請求アレトモ約束手形ニハ此等ノ必要ナシ從ヒテ約束手形ノ振出人ニ對シテ拒絕證書ヲ作ルノ必要ナシ但支拂擔當者ヲ記載シタル他所拂約束手形ハ此限ニ在ラス

第八 小切手

小切手ハ一覽拂ノ爲替手形ト同一ノ性質ヲ有ス乃チ小切手ノ支拂人ハ一定ノ

小切手ノ性質及ヒ效用

小切手ノ
方式

場所ニ於テ一覽ノ日ニ一定ノ金額ヲ受取人又ハ所持人ニ支拂フヘキ義務ヲ負
 フ唯其異ナル所ハ爲替手形ハ信用ノ具ト爲リ小切手ハ支拂ノ具ト爲ルニ在リ
 而シテ其支拂人ハ通常銀行ナリ即チ大抵寄託其他ノ方法ニ依リ銀行ニ對シテ
 繼續スル信用ヲ有スル者カ自己又ハ第三者ノ爲メニ其寄託金ノ幾分宛ヲ引出
 スノ用ニ供スルモノトス唯小切手ノ目的ヲ獨リ此ニ限ル必要ナキノミ
 小切手ノ方式即チ小切手ニ記載スヘキ事項ハ他ノ手形ト大差ナケレトモ其持
 參人拂式タルコトヲ得ルハ小切手ノ特色ナリ從ヒテ小切手ハ他ノ手形ト異ナ
 リ金額ノ如何ニ拘ラス之ヲ無記名式トスルコトヲ得又小切手ニ特別ナル一種
 ノ方式アリ線引小切手ト爲スコトヲ得ルコト是レナリ線引小切手トハ小切手
 ノ表面ニ二條ノ平行線ヲ畫キ其線内ニ銀行若クハ之ト同意義ノ文字又ハ特定
 銀行ノ商號ヲ記載シタルモノヲ謂フ蓋シ小切手ハ支拂ノ用ニ供シ其流通ノ頻
 繁ナルカ爲メニ盜難其他紛失ノ危險モ亦多キヲ以テ線引小切手ハ專ラ其危險
 ヲ避クルノ趣旨ニ出ツルナリ

第五章 海商

海商ノ意
義

海商法適
用ノ範圍

海商トハ海上ノ商業ノ義ニシテ海商法ハ即チ海上ノ商業ニ關スル規定ナリ然
 レトモ海上ノ商業ハ皆海商法ノ適用ヲ受ルモノニ非ス例ヘハ甲乙二人ノ商人
 カ航海中ニ或ル物品ノ賣買ヲ爲スコトアリトスルモ唯取引ヲ海上ニ於テ爲シ
 タルニ過キスシテ此ニ所謂海商ニ非ス又海商法ノ適用ヲ受クルハ必スシモ海
 上ニ於テスル商行爲ノミニ限ラス船舶ニ關スル一切ノ商行爲ハ假令ヒ陸上ニ
 於テスルトキモ亦海商法ノ規定ヲ受ケサルヘカラス然ラハ此ニ所謂海商法ノ
 性質ハ要スルニ海上船舶ニ關スル規定ナリト云フモ敢テ不可ナシ
 海商法ノ性質ハ此ノ如シ然レトモ海上ノ船舶ハ皆其規定ヲ適用セラルルニ非
 ス商法第五百三十八條ニ曰ク本法ニ於テ船舶トハ商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テ航
 海ノ用ニ供スルモノヲ謂フト故ニ商行爲ヲ爲ス目的ナク公用ノ目的又ハ探檢
 若クハ學術研究等ノ目的ヲ以テ航海ノ用ニ供スル船舶ハ商法ノ範圍ニ入ラス
 其最モ著シキハ軍艦其他政府所有ノ船舶ナリ又商法ハ端舟其他櫓權ヲ以テ運

轉シ又ハ主トシテ櫓權ヲ以テ運轉スル舟ヲ除外セリ蓋シ此等ハ其形扁小ニシテ航海ノ用ニ勝エス港灣若クハ海岸ヲ航行スルニ止ルカ故ニ假令ヒ商行爲ヲ爲スノ目的アルモ湖川ニ浮フル船舶ト同シク海商法ヲ適用スルノ必要ナケレハナリ

第一 船舶所有權

船舶所有權ノ特色

船舶所有權ハ普通ノ動產所有權ト異ナルコトナシ唯特別法ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ爲シ且船舶國籍證書ヲ受クルニ非サレハ之ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス又船舶所有權ハ獨リ船舶其物ノ上ニ存スルニ非ス船舶ノ屬具目錄中ニ記載シタル物ハ法律ニ於テ之ヲ船舶ノ從物ト推定ス

船舶共有者間ノ關係

船舶ハ一人ノ所有ニ屬スルコトアリ又數人ノ共有ニ屬スルコトアリ一人ノ所有ニ屬スル場合ハ別ニ解説ヲ要セス數人ノ共有ニ屬スル場合ハ特ニ其共有者ノ權利ヲ定ムル必要アリ共有者間ニ於ケル船舶ノ利用ハ各共有者ノ持分ノ價格ニ從ヒ其過半数ヲ以テ之ヲ決ス然レトモ少數ノ異議者ハ絶對的ニ其決議ニ服從スル義務ナシ新ニ航海ヲ爲シ又ハ船舶ノ大修繕ヲ爲スカ如キ重大ナル決

船舶債權ノ擔保

議ノ場合ニハ異議者ハ他ノ共有者ニ對シ相當代價ヲ以テ自己ノ持分ノ買取ヲ請求スルコトヲ得又船舶共有者ハ共有者間ニ組合關係アルトキト雖モ自由ニ其持分ノ讓渡ヲ爲スコトヲ得何トナレハ當事者ノ意思ニ依リテ解除セラルルコトハ組合關係ニ於テモ異ナル所ナケレハナリ然レトモ其持分ノ讓渡ニ因リテ船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失スヘキトキハ他ノ共有者ハ自己ノ利益ヲ保全スルカ爲メニ相當代價ヲ以テ其持分ヲ買取リ又ハ其競賣ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得而シテ船舶共有者ハ一定ノ重大ナル行爲ヲ除ク外船舶ノ利用ニ關シ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ代理セシムルカ爲メニ船舶管理人ヲ選任スルノ義務アリ若シ共有者以外ノ者ヨリ之ヲ選任スル場合ニハ共有者全員ノ同意アルコトヲ要ス

船舶ハ船舶ニ關シテ發生シタル種種ノ債權ニ對シテ擔保ノ目的ト爲ル船舶ノ屬具及ヒ未タ受取ラサル運送貨モ亦同シ而シテ各種ノ債權者ハ法律ノ定メタル順位ニ依リ先取特權ヲ有スルコトヲ得船舶先取特權ト稱スルモノ即チ是レナリ又船舶カ債權ノ擔保ニ供セラルル以上ハ固ヨリ之ヲ質權ノ目的ト爲スヲ

妨ケサルノ理ナルモ若シ既ニ登記ヲ經タル船舶ノ上ニ質權ヲ設定センカ其占有ヲ權利者ニ移スノ結果トシテ所有者ハ船舶ヲ利用スル能ハサルニ至ラン此ノ如キハ經濟上ノ便益ヲ害スルコト大ナリ若シ夫レ抵當ニ付スルニ於テハ此ノ如キ恐ナシ而シテ船舶ハ登記其他ノ點ニ於テ不動産ト類似ノ規定ヲ適用セラルルヨリシテ法律ハ登記シタル船舶ニ對シテ獨リ抵當權ノ設定ヲ認メタリ

第二 船員

船員ノ種類

船員 *Mariners, équipage, Schiffsbesatzung* ハ船舶ノ運轉ニ必要ナル機關ニシテ船長及ヒ海員ノ二種アリ海員トハ船長以外ノ乗組員即チ運轉手、機關手、事務員、水夫、厨夫、給仕等ヲ總稱ス

(一) 船長ノ責任
船長ノ職務權限

(一) 船長 船長ハ船舶所有者、傭船者、荷送人、旅客等、總テ利害關係人ノ財産又ハ生命ヲ保全スヘキ重大ノ責任アル者ニシテ其船舶ニ關シ重大ナル職務權限ヲ與ヘラルルモ亦其責任ヲ盡サシムルカ爲メニ外ナラス其職務權限ヲ大別スレハ航海前ノモノト航海中ノモノトアリ航海前ノ職務ハ船舶カ航海ニ支障ナキヤ否ヤ其他航海ニ必要ナル準備整頓セリヤ否ヤヲ検査スルニ在リ航海中ノ

(二) 海員
海員ノ權利及義務

職務ハ各種ノ書類ヲ準備シ荷物ノ船積、陸揚、旅客ノ乗込上陸ヲ指揮監視シ積荷ヲ適當ニ處分スルニ在リ又故ナク發航ヲ遲滯シ又ハ豫定ノ航路ヲ變セサルニ在リ而シテ其權限トシテハ船籍港外ニ於テハ航海ノ爲メニ必要ナル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲シ又一定ノ費用ヲ支辨スル爲メニハ船舶ヲ抵當トシ積荷ヲ賣却又ハ質入スルコトヲ得又航海繼續ニ必要ナルトキハ積荷ヲ航海ノ用ニ供シ船舶カ修繕スヘカラサルニ至リタルトキハ之ヲ競賣スルコトヲ得尙ホ危險ノ場合ニ際シテハ共同海損處分ヲ爲スコトヲ得此他船長カ船舶所有者ニ對スル權利義務ノ關係ハ之ヲ説クノ要ナカルヘシ

(二) 海員 海員ハ船長ノ指揮監督ヲ受ケ海上ノ勞務ニ從事シ幾多ノ變故危難ニ際會スルモノナレハ之ニ關スル規定ハ寧ロ保護ヲ主トス其權利ハ不當ノ雇止ニ對シテ一定ノ賠償ヲ請求シ且無賃送還ヲ請求スルノ權利、航海延長ノ際ニ増給ヲ請求スルノ權利、一定ノ期間疾病又ハ傷痍ノ治療及ヒ看護ヲ受クルノ權利、一定ノ場合ニ雇止ヲ請求スルノ權利等トス其義務ハ船長ノ指揮ニ從ヒ其任務ヲ盡スニ外ナラス故ニ船長ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其乗込ミタル船舶ヲ

去ルコトヲ得ス

第三 海上運送

海上運送ノ特例

海上運送ヲ分チテ物品運送、旅客運送ノ二トスルコトハ一般ノ運送ト同シケレトモ物品運送ニハ船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ契約ノ目的トスルモノハト箇箇ノ運送品ヲ以テ契約ノ目的トスルモノトヲ區別スルハ海上運送ノ特例ナリ蓋シ一般ノ運送ニ於テモ運送器具ノ全部又ハ一部ヲ契約ノ目的トスル場合ナキニ非ス全車貸切、全船貸切等ハ實際之ヲ見ル所ナリ然レトモ立法者ハ一般ノ運送ニ關シテハ特別規定ノ必要ナシトシテ特ニ海上運送ニノミ其規定ヲ設ケタリ而シテ此場合ノ運送委託者ヲ備船者ト云ヒ箇箇運送ノ場合ノ運送委託者ヲ荷送人ト云フ

運送品ノ授受ニ關スル運送當事者ノ權利義務

運送品ノ船積ニ關シテハ船舶ノ全部ヲ以テ運送ノ目的トシタル場合ト箇箇ノ運送品ヲ以テ運送ノ目的トシタル場合トヲ區別スルヲ要ス船舶ノ全部ヲ以テ運送ノ目的トシタル場合ニ於テハ船舶所有者ハ船積ニ必要ナル準備整頓シタルトキハ運送ナク備船者ニ通知シ備船者ハ船積期間ノ定マルトキハ其期間内

船荷證券

ニ船積ヲ爲ササルヘカラス期間經過後ハ船積ノ了否ニ拘ラス船長ハ直ニ發航スルコトヲ得又經過後ニ爲シタル船積ニ對シテハ船舶所有者ハ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得箇箇ノ運送品ヲ以テ契約ノ目的トシタル場合ニ於テハ荷送人ハ唯船長ノ指揮ニ從ヒ遲滞ナク運送品ヲ船積スルノ義務アルノミ尙ホ運送品ノ陸揚ノ場合ニ於ケル船舶所有者又ハ船長ト荷送人トノ間ノ關係モ其船積ノ場合ニ於ケル關係ト趣旨相同シ海上運送ニ於ケル運送證券ハ之ヲ船荷證券 Bill of lading, connaissement, Schiffadeschein ト稱シ備船者又ハ荷送人ノ請求ニ因リ

海上旅客運送ニ特別ナル規定

船積後遲滞ナク船長之ヲ交付スヘキモノトス
旅客運送ニ於テモ大體ニ於テモ異ナルコトナシ唯海上運送ニ於テハ乘船切符ハ記名式トシテ讓渡ヲ許ササルモノアルコト航海中旅客ノ食料ハ船舶所有者ノ負擔ニ歸スルコト航海中船舶ヲ修繕スヘキトキハ船舶所有者ハ其修繕中旅客ニ住居及ヒ食料ヲ供スルノ義務アルコト等ハ陸上運送ト其趣旨ヲ異ニスル所ナリ

海上運送保險

一般ノ運送保險ハ運送品ノ保險ナレトモ海上保險ニ於テハ運送品ノ保險ノ外

尙ホ運送機關ノ保險アリ前者ハ即チ積荷ノ保險ニシテ後者ハ即チ船舶ノ保險ナリ而シテ其損失填補ノ目的ニ出テタル保險タルニ於テハ皆一ナリト雖モ被保險利益並ニ危險ノ發生スヘキ状態等ニ差異アルヨリシテ多少一般運送保險以外ニ特別ノ規定ナキヲ得ス但此ニ之ヲ論スル必要ナシ

第四 海損

義 海損ノ意

船長カ船舶及ヒ積荷ヲシテ共同ノ危險ヲ免レシムル爲メ船舶又ハ積荷ニ付キ爲シタル處分ニ因リテ生シタル損害及ヒ費用ハ之ヲ海損 Sea damages, fortunes de mer, Seeschaden トス共同ノ危險トハ例ヘハ暴風ニ際シ船舶積荷共ニ沈没セントスルカ如キ状態ニシテ船舶若クハ積荷ノ一方ニ限ル災害ハ共同ノ危險トスルヲ得ス而シテ其共同ノ危險ヲ避クルニハ或ハ積荷ヲ放棄スル必要モアルヘク又帆樫ヲ切斷スル必要モアルヘク又避難港ヘ駛走スル必要モアルヘシ共同海損ハ總テ此等一切ノ損害及ヒ費用ヲ含包ス其共同海損ノ割合ハ船舶又ハ積荷ハ價格ノ全額運送賃ハ半額ヲ以テ共同海損タル損害ノ額ヲ平等ニ算當シ各利害關係人ニ於テ之ヲ分擔ス船舶ノ價格ハ到港ノ地及ヒ時ニ於ケル價格ニ依リ

共同海損ノ割合

テ之ヲ定メ積荷ノ價格ハ陸揚ノ地及ヒ時ニ於ケル價格ニ依リテ之ヲ定ム

第六編 訴訟法

訴訟法ノ
意義

歐米諸國
ニ於ケル
訴訟法

我國ニ於
ケル訴訟
法

訴訟法ハ所謂助法ニシテ主法ノ活用ヲ目的トス故ニ主法ノ規定セル法律關係ニ付キテ起生セル疑義ニ對シ之カ審理裁判ヲ爲スノ手續並ニ其審理裁判ヲ爲ス機關ノ組織及ヒ權限ヲ規定スルモノハ皆之ヲ訴訟法ト謂フ而シテ本體タル主法ノ法律關係ノ差異ニ依リテ訴訟法ノ規定モ亦一樣ナルコトヲ得ス從ヒテ訴訟法ニ種種ノ區別ヲ生ス今之ヲ歐米諸國ノ例ニ考フルニ或ハ憲法上ノ訴訟ニ關スルモノアリ或ハ行政法上ノ訴訟ニ關スルモノアリ或ハ刑法上民法上商法上ノ訴訟ニ關スルモノアリ主法ノ規定異ナルニ從ヒテ一之ニ應スル訴訟法規アルモノ多シ然レトモ我邦ニ於テハ唯四種ノ訴訟法アリ刑事訴訟ニ關スルモノ民事訴訟ニ關スルモノ行政訴訟ニ關スルモノ及ヒ陸海軍軍事訴訟ニ關スルモノ是レナリ憲法ニ關シテハ特ニ其爭議ヲ裁判スル機關ノ設ナク又商法ニ關シテハ民事裁判所ニ於テ其訴訟ヲ判決スルハ我國法ノ精神ナリ特別ノ訴訟手續ハ必スシモ之ヲ說カス又行政訴訟ニ關シテハ既ニ行政法ニ於

テ之ヲ述ヘタリ故ニ今此ニ觀察セントスルモノハ刑事訴訟法及ヒ民事訴訟法ノ二種ニ止ル而シテ裁判所ノ構成ニ付キテハ別ニ裁判所構成法アリ訴訟ニ關スル特別法トシテ其大體ノ觀察ヲ下ササルヲ得ス

第一章 訴訟

第一 訴訟ノ性質及ヒ種類

訴訟ノ性
質

訴訟 Process, Process トハ特定ノ人カ特定ノ人ニ對シ法規實行又ハ權利保護ノ目的ノ爲メニ其判斷ヲ特定ノ裁判所ニ請求スルヲ謂フ其訴訟ヲ提起スル者ヲ原告ト謂ヒ其訴訟ヲ提起セラルル者ヲ被告ト謂フ故ニ訴訟ニハ必ス利害相反スル當事者ノ雙方存セサルヘカラス若シ一人カ單ニ或ル處分ニ對スル不服ノ申立ヲ爲シ又ハ單ニ身體上財產上ノ保護ヲ請求スルカ如キハ之ヲ訴訟ト爲スコトヲ得ス又訴訟ハ必ス裁判所ニ提起セラレサルヘカラス特定ノ二人以上ノ爭ト雖モ其判斷ヲ裁判所ニ請求セサルモノハ訴訟ニ非ス而シテ其目的ハ或ハ法規ノ實行ヲ求ムルニ在リ刑事訴訟ノ如キハ是レナリ或ハ權利ノ保護ヲ求ムル

訴訟ノ種類

ニ在リ民事訴訟ノ如キハ是レナリ
 訴訟ヲ大別シテ普通訴訟及ヒ特別訴訟ノ二種トス普通訴訟トハ通常裁判所ハ
 裁判管轄ニ屬スルモノヲ謂ヒ特別訴訟トハ特別裁判所ノ裁判管轄ニ屬スルモ
 ハヲ謂フ普通訴訟ハ又之ヲ二種ニ區別ス一ヲ刑事訴訟ト云ヒ一ヲ民事訴訟ト
 云フ刑事訴訟ハ刑事制裁ノ實行ヲ目的トスルモノニシテ即チ犯罪ノ證明ト刑
 罰ノ適用トヲ主トシ民事訴訟ハ民事制裁ノ實行ヲ目的トスルモノニシテ即チ
 私權ノ確認及ヒ保護ヲ主トス然ルニ或ル犯罪ハ國家ノ安寧秩序ヲ害スルト同
 時ニ一私人ノ權利ヲ害スルコトアリ此場合ニ在リテハ一人ノ不法行為カ同時
 ニ刑事制裁ト民事制裁トヲ惹起シ二種ノ訴訟並起ルカ故ニ理論上其審理ヲ分
 ツヘキモノナレトモ便宜上刑事訴訟ニ於テ同時ニ之カ審理ヲ爲サシム是ニ於
 テ刑事訴訟ニ公訴及ヒ私訴ノ區別ヲ生ス公訴トハ國家カ私人ニ對シテ犯罪ノ
 證明及ヒ刑罰ノ適用ヲ請求スルヲ謂ヒ私訴トハ私人カ他ノ私人ニ對シテ犯罪
 ニ原ツク損害ノ回復ヲ請求スルヲ謂フ

第二 訴訟當事者

訴訟當事者

訴訟當事者トハ訴訟事件ニ關シ反對ノ主張ヲ爲ス相手方ニシテ原告及ヒ被告
 是レナリ凡ソ人ハ一個人タルト法人タルトヲ問ハス皆訴訟當事者タルコトヲ
 得之ヲ訴訟能力ト謂ヒ其法律ニ依リ原告トシテ訴訟ヲ提起スルコトヲ得ルノ
 力ハ之ヲ訴權ト謂フ

訴訟ノ原告

刑事訴訟ニ於ケル
檢事ノ制度

訴訟ノ原告ハ刑事訴訟ト民事訴訟トニ於テ同シカラス刑事訴訟ノ原告ハ常ニ
 國家タリ國家ハ即チ自己ノ法益ヲ保持スルカ爲メ刑事上ノ訴權ヲ有スルモノ
 ニシテ公訴權 Action publique トハ即チ其原告タルノ權利ナリ然レトモ國家ハ固
 ヲリ自ラ其訴權ヲ行フコトヲ得ス必ス之ヲ有形人ニ委任セサルヘカラス而シ
 テ古代ニ於テハ或ハ被害者タル一私人ニ委任シ或ハ國民一般ニ委任シタルコ
 トナキニ非サレトモ其弊ヤ訴權ノ濫用ニ陥ラスンハ緩漫ニ流レ易シ故ニ近世
 國家ニ於テハ專ラ特定ノ機關ヲ設ケテ公訴權ヲ行ハシム檢事是レナリ若シ夫
 レ公訴ニ附帶スル私訴ハ被害者之ヲ提起スヘキコト民事訴訟ト同シ但其手續
 ハ專ラ刑事訴訟法ノ定ムル所ニ依ル民事訴訟ハ私人相互ノ間ニ起ルモノナレ
 ハ其原告ハ固ヨリ私人タリ國家カ民事訴訟ノ原告タルハ其法人タルノ資格ヲ

民事訴訟
ノ原告

訴訟ノ被告

以テスルモノニシテ即チ私人ト對等ノ關係ニ於テス此場合ニ國家ヲ代表スルモノハ特定ノ行政官應ナリ
訴訟ノ被告ハ刑事訴訟ト民事訴訟トヲ問ハス常ニ私人タリ然レトモ此ニ注意ヲ要スルハ國家若クハ其他公私ノ法人ハ私人ト同シク民事訴訟ノ被害ト爲ルモ刑事訴訟ノ被告ト爲ルコトナシ何トナレハ犯罪行爲ハ特ニ有形人ノ行爲ニ係リ無形人タル法人ハ其性質上犯罪人タルコトヲ得サレハナリ但罰金ハ法人ニ對シテモ之ヲ科スルコトハ近來立法上ノ實例ニ於テ之ヲ見ルコトハ前ニ既ニ之ヲ述ヘタリ

第三 訴訟ノ發生及ヒ消滅

民事上ノ訴訟ハ刑事上ノ訴訟ト相伴ハス

刑事訴訟ハ犯罪ノ發生ト共ニ發生シ刑罰ノ消滅ト共ニ消滅ス蓋シ刑事訴訟ハ犯罪ニ原因スルモノナレハ犯罪ナケレハ適用スヘキノ刑罰ナク刑罰ナケレハ訴訟モ亦自ラ消滅スヘケレハナリ民事訴訟モ亦固ヨリ訴訟ノ原因ト共ニ消滅スレトモ民事上ノ訴訟ト刑事上ノ訴訟トハ必スシモ相伴ハス或ル加害行爲カ犯罪ヲ構成セサリシトキニ於テモ民事訴訟ハ尙ホ獨立シテ行ハルルコトヲ得

公訴消滅ノ原因

故ニ刑事訴訟ニ於ケル公訴及ヒ私訴ノ消滅モ亦其原則ノ適用ヲ脱スルコトヲ得ス

私訴消滅ノ原因

公訴消滅ノ原因ニ六アリ(一)被告人ノ死亡(二)告訴ノ拋棄(三)確定裁判(四)刑罰ノ廢止(五)大赦(六)時効是レナリ被告人ノ死亡ニ因リ公訴消滅スルハ刑罰ハ一身ニ止マルノ原則ニ出ツ告訴ノ拋棄ハ特ニ被害者ノ告訴ヲ待チテ受理スル事件ニ付キテノミ公訴消滅ノ效力ヲ生ス確定裁判ニ因リテ公訴消滅スルハ一事不再理 *Ne bis in idem* ノ原則ニ本ツク刑罰ノ廢止及ヒ大赦ハ犯罪其物ヲ消滅セシムルモノナルカ故ニ從ヒテ公訴ノ消滅ヲ致スナリ時効ハ國家カ公益上ノ考察ニ本ツキテ定メタル消滅原因ナリ私訴ハ公訴ニ附帶シテ起レトモ一旦起リタル私訴ハ公訴ト其進行ヲ一ニセス假令ヒ或ル理由ニ因リテ犯罪者カ無罪ノ宣告ヲ受クルモ之カ爲メニ私訴消滅スルコトナシ唯公訴ヲ惹起シタル事實カ元來權利ノ實行ニ係ルトキハ即チ不法行爲アルノ理ナキカ故ニ之ニ附帶スル私訴モ亦自ラ消滅スヘキモ其他ノ場合ニ於テハ私訴ハ必スシモ犯罪ト相伴フコトヲ要セス故ニ私訴消滅ノ原因トシテハ(一)被害者ノ拋棄又ハ和解(二)確定裁判(三)時

效アルノミ是レ皆民事訴訟ノ原則ニ出テタル消滅原因ニ外ナラス唯私訴ハ公訴ニ附帶シテ刑事裁判所ニ提起スルヲ以テ時効ノ期限ハ公訴ト同一ナリ

第四 刑事訴訟ト民事訴訟トノ關係

刑事訴訟
ト民事訴訟
トハ相
獨立ス

刑事訴訟ト民事訴訟トハ各相獨立シテ關係ナシ假令ヒ同一ノ事件ニ付キテ二箇ノ訴訟竝起ル場合ニ於テモ裁判所ハ互ニ獨立ノ權限ヲ以テ其審理ニ付セラレタル訴訟ヲ裁判スルコトヲ得然レトモ訴訟進行ノ便宜上一ノ訴訟ノ判決アルマテ他ノ訴訟ヲ中止スルコトハ固ヨリ之ナキニ非ス例ヘハ民事訴訟中罰スヘキ行為ノ嫌疑生シ其行為カ民事ノ裁判ニ影響ヲ及ホスヘキモノナル場合ニハ刑事訴訟手續ノ完結ニ至ルマテハ民事訴訟ノ進行ヲ中止セサルヲ得ス所謂豫斷問題 Question préjudicielle ノ場合トハ即チ是レナリ

豫斷問題

第二章 裁判所

第一 裁判所ノ構成

通常裁判
所ノ構成

裁判所構成法ニ依レハ通常裁判所ヲ分チテ區裁判所、地方裁判所、控訴院及ヒ大

審院ノ四ト爲ス區裁判所ハ民事上及ヒ刑事上最下級ニ位スル裁判所ニシテ獨任制ヲ以テ組織セラレ其他ハ皆合議制ニ依ル地方裁判所ハ第一審トシテ區裁判所及ヒ大審院ノ特別權限ニ屬セサル一切ノ事件ヲ裁判シ第二審トシテ其管轄内ノ區裁判所ノ裁判ニ對スル控訴ヲ裁判ス控訴院ハ其名稱ノ示スカ如ク第二審トシテ地方裁判所ノ裁判ニ對スル控訴ヲ裁判スルモノナレトモ區裁判所ノ裁判ニ關シテハ上告裁判所トシテ第三審ノ裁判ヲ爲ス大審院ハ唯一最高ノ裁判所ニシテ控訴院ノ判決ニ對スルヒ告ヲ裁判シ又其特別權限ニ屬スル事件ヲ裁判ス

裁判所ノ
職員

各通常裁判所ニハ定數ノ判事ノ外檢事局及ヒ書記課ヲ附置ス檢事ハ刑事ニ關シテハ訴追手續ヲ掌リ民事ニ關シテハ公益ノ代表者トシテ法定ノ監督權ヲ行ヒ書記ハ往復會計記錄等ノ事務ヲ取扱フ尙ホ此外區裁判所ニハ執達吏ヲ置キテ文書ノ送達裁判ノ執行等ノ事務ヲ取扱ハシム裁判官ノ任用ハ法律上一定ノ資格ヲ要スルノミナラス其職務執行ニ際シテハ更ニ特別ノ條件ヲ具ハサルヘカラス除斥又ハ忌避セラレサルコト即チ是レナリ除斥 Exclusion, Ausschliessung

除斥忌避
及ヒ回避

ハ法律上一定ノ原因ニ依リテ職務ノ執行ヲ禁スルヲ謂ヒ忌避 Recusation, Able-
Jungトハ法律上一定ノ手續ニ從ヒ當事者ヲシテ職務ノ執行ヲ妨ケシムルヲ謂
フ皆裁判ノ公平ヲ保ツカ爲メノ條件ナリ又回避 Abstentionト稱スル制アリ是レ
裁判官カ當事者ヨリ忌避セラルルニ非スシテ法律ノ除斥アリト認ムル場合若
クハ其他ノ場合ニ自ラ其職務ノ執行ヲ避止スルヲ謂フ

第二 裁判所ノ管轄

裁判管轄
ノ意義

裁判所ノ管轄 Competence, Kompetenzトハ一定ノ訴訟ヲ審理裁判スル職務ノ範圍
ヲ示スモノニシテ或ハ訴訟事件ノ性質ニ依リテ定マリ或ハ土地ノ區域ニ依リ
テ定マル故ニ裁判所ノ管轄ハ之ヲ大別シテ二種トスルコトヲ得訴訟事件ノ性
質ニ依ルモノハ之ヲ事物ノ管轄ト謂ヒ其土地區域ニ依ルモノハ之ヲ土地ノ管
轄ト謂フ事物ノ管轄ハ即チ裁判所ノ等級ニ由リテ定マル所ニシテ土地ノ管轄
ハ即チ同等級ノ裁判所ノ管轄ノ由リテ定マル所ナリ

通常裁判
所ノ事物
ノ管轄

通常裁判所ノ事物ノ管轄ハ専ラ裁判所構成法ノ定ムル所ニ依リ其土地ノ管轄
ハ刑事訴訟法及ヒ民事訴訟法ノ定ムル所ニ依ル刑事裁判ニ關スル土地ノ管轄

刑事裁判
所ノ土地
ノ管轄

民事裁判
所ノ土地
ノ管轄

指定又ハ
約定ノ裁
判管轄

ハ犯罪地又ハ被告人ノ所在地ヲ以テ定ムルヲ通常トシ外國ニ於ケル犯罪ニ就
キテハ内地ニ於テ逮捕シタルトキハ逮捕地外國ヨリ送致シタルトキハ送致地
ハ裁判所ヲ以テ其管轄トシ海船内ニ於ケル犯罪ニ就キテハ船舶ノ定繫地又ハ
犯罪後最初ノ着船地ノ裁判所ヲ以テ其管轄トス民事裁判ニ關スル土地ノ管轄
ハ訴訟人ノ住所ヲ以テ定ムルヲ通常トシ特別管轄トシテハ寓居ノ裁判籍財產
ノ裁判籍店舗ノ裁判籍相續ノ裁判籍等住所以外ニ特ニ定ムルコトヲ得ルモ
少カラス而シテ何レノ場合ニ於テモ特定ノ訴訟カ特定ノ裁判管轄ニ屬スル
トキハ其裁判所ヲ名ツケテ受訴裁判所ト云フ若シ管轄裁判所カ法律上ノ故障
又ハ事實上ノ故障例ヘハ判事ノ除斥又ハ天災地變等意外ノ事變ノ爲メ裁判ス
ルコト能ハサル場合若クハ裁判管轄ノ分明ナラス若クハ主管爭議ノ起リタル
場合ニハ訴訟關係者ノ申請ヲ待チ直近上級ノ裁判所ニテ其管轄ヲ決定ス此場
合ノ裁判所ハ之ヲ指定裁判所ト謂フ又民事ニ於テハ當事者ノ合意ニ依リテ裁
判籍ヲ定ムルコトヲ得ル場合アリ合意上ノ裁判所トハ即チ是レナリ

訴訟手續

第三章 訴訟手續 第一節 第一審ノ刑事訴訟

判決前ノ
訴訟手續

第一 判決前ノ手續

刑事訴訟ノ判決前ノ手續ハ之ヲ訴追手續ト豫審手續トニ大別スルコトヲ得

訴追手續

(甲) 訴追手續 Poursuit, Verfolgung ハ又之ヲ犯罪ノ捜査及ヒ起訴ノ二種ニ分ツ

(一)犯罪
ノ捜査
告訴及ヒ
告發

(一) 犯罪ノ捜査 Recherche, Erforschung ハ、檢事カ公訴ヲ起スニ必要ナル證據ヲ蒐集スルハ準備行為ニシテ其手續ハ告發及ヒ現行犯ノ各場合ニ於テ異ナリ告訴 Plainte, Antrag トハ被害者カ官ノ捜査ヲ行ハシムルカ爲メニ犯罪地若クハ犯人所在地ノ檢事又ハ司法警察官ニ對シテ爲ス報告ヲ謂ヒ告發 Denunciation, Anzeige トハ第三者カ爲ス報告ヲ謂フ告訴又ハ告發ヲ爲スニハ通常告訴人又ハ告發人ノ署名捺印セル書面ヲ以テシ若シ司法警察官之ヲ受ケタルトキハ急速ニ之ヲ檢事ニ送致スヘキモノトス現行犯 Flagrant Délit トハ現ニ行ヒ

現行犯ノ
場合ノ特
例

又ハ現ニ行ヒ終ハリタル際ニ發覺シタル犯罪ニシテ犯人及ヒ犯罪ノ證據顯然タルモノナレハ何人ト雖モ令狀ナクシテ之ヲ逮捕スルコトヲ得

(二)起訴

(二) 起訴 Accusation, Anklage トハ檢事カ犯罪ノ捜査ヲ終リタルトキニ豫審判事又ハ刑事裁判所ニ訴訟ノ受理ヲ求ムルノ行為ヲ謂フ其豫審判事ノ豫審ヲ求ムヘキ場合ハ重罪ト思料シタル事件及ヒ輕罪ト思料スルモ罪質重大訴訟繁雜ナル事件ニ關ス刑法ハ重罪輕罪ノ區別ヲ廢セリ故ニ早晚此點ノ改正アルヘシ而シテ何レノ場合ニモ檢事ハ若シ其事件カ自己所屬ノ裁判所ノ管轄ニ非スト思料シタルトキハ之ヲ管轄裁判所ノ檢事ニ送致スヘキモノトス

豫審手續

(乙) 豫審手續 Instruction, Voruntersuchung トハ犯罪ノ存在ヲ顯關シ罪迹ヲ發覺スヘキ一切ノ事實ヲ審理スルノ行為ニシテ檢事ノ請求ヲ待テ豫審判事

(一)令狀
ノ送達

之ヲ行フ其手續ハ之ヲ左ノ諸項ニ分チテ觀察スルコトヲ得
(一) 令狀ノ送達 Mandat ハ犯人ノ訊問ヲ爲シ又ハ其逃亡ヲ防クカ爲メニ重罪ノ犯人ニ對シテ豫審判事又ハ受託判事ノ發スル出廷又ハ拘束ノ命令ニシテ召喚狀引狀拘留狀ノ三種アリ召喚狀ハ被告人ヲ裁判所ニ出頭セシム

(二)證據ノ蒐集

(イ)被告人ノ訊問及ヒ對質

(ロ)檢證、搜索及ヒ物件差押

ルカ爲メニ發ス故ニ之ニ應スルト否トハ被告人ノ任意ニ係ル拘引狀ハ被告人カ召喚狀ヲ受ケテ出頭セス又ハ其他法律ニ定メタル場合ニ被告人ヲ引致スルカ爲メニ發シ拘留狀ハ被告人訊問ノ結果、禁錮以上ノ刑ニ該ルヘキモノト思料シタルトキニ之ヲ留置スルカ爲メニ發シ共ニ被告人ヲ強制スルノ力ヲ有ス

(二)證據ノ蒐集 證據ハ裁判官カ事實ヲ認定スルノ材料ニシテ之ヲ蒐集スル方法ハ左ノ如シ
(イ)被告人ノ訊問及ヒ對質 豫審判事ハ先ツ被告人ヲ訊問セサルヘカラス其訊問ニ對スル被告人ノ陳述ヲ供述ト謂フ又豫審ハ秘密ヲ原則トスレトモ犯罪事實ヲ發見スルカ爲メ必要ナルトキハ被告人ト他ノ被告人、證人又ハ其他ノ者ト對質セシムルコトヲ得

(ロ)檢證、搜索及ヒ物件差押 檢證 Visite domiciliaire トハ豫審判事カ犯罪ノ場所又ハ其他ノ場所ニ臨ミ犯罪事實ヲ正確ニスル方法ヲ謂ヒ搜索 Perquisition, Durchsuchung トハ被告人ノ住居又ハ證據物件ヲ藏匿スル疑アル者ノ住居若クハ其身體及ヒ財産ニ付キテ證據物件ヲ探求スル方法ヲ謂フ而シテ其臨檢搜索シテ發

(ハ)證人ノ訊問

見シタル物件カ犯罪事實ヲ證明スルニ足ルト思料シタルトキハ豫審判事ハ之ヲ差押ヘテ封印ヲ爲シ目錄ヲ作ラサルヘカラス其方法ヲ物件差押 *saisie, Beschlagnahme* ト謂フ

(ハ)證人ノ訊問 廣ク證人 *Témoin, Zeuge* ト云フトキハ能力者ト無能力者トヲ分タス總テ事實ヲ申述スル者ヲ指シ事實參考人ヲモ包含ス然レトモ眞正ノ證人ト事實參考人トノ間ニハ大ニ差異アリ證人ノ陳述ハ證言ト爲レトモ事實參考人ノ陳述ハ證言ト爲ラス又虚偽ノ陳述ヲ爲シタル場合ニハ證人ハ偽證罪ヲ犯シ事實參考人ハ刑法ノ犯人ト爲ラス證人タル能力ナキ者ニハ二種アリ一ヲ相對的無能力者トシ一ヲ絶對的無能力者トス相對的無能力者ハ特ニ關係事件ニ付キテ證人タルヲ得サル者ニシテ民事原告人又ハ被告人ノ親族等ノ如キ是レナリ絶對的無能力者ハ關係事件ヲ問ハス身分ヲ論セス總テ證人タルコトヲ得サル者ニシテ十六歳未滿ノ幼者、知覺精神ノ不十分ナル者等ノ如キハ是レナリ
(ニ)鑑定 *Expertise, Sachverständige* トハ學術、技藝ニ熟練セル人ノ意見ヲ謂フ豫審判事ハ犯罪ノ性質方法及ヒ結果ヲ分明ナラシムル爲メ鑑定ノ必要アル

場合ニハ之ヲ鑑定人ノ鑑定ニ附セサルヘカラス其證人ノ證言ト異ナル所ハ證人ハ其見聞セル過去ノ事實ヲ申述スルモノナレトモ鑑定人ハ其事實ヲ見聞セ

(三)保釋及ヒ責付

ス唯自己ノ學藝技術ニ由リテ之ヲ證明スルニ在リ
(三)保釋及ヒ責付 未決拘留ハ犯罪事實發見ノ爲メ己ムコトヲ得スシテ施ス強制方法ニシテ犯人ノ自由ヲ妨ケ家族ノ困難ヲ來スコトナキヲ保セス故ニ之ニ應スル假釋ノ寬典ナカルヘカラス其方法ニ二種アリ一ヲ保釋 Cautonnement ト云ヒ一ヲ責付 Liberte provisoire ト云フ保釋トハ被告人ノ請求ニ依リ保證金ヲ納メシメテ假ニ其拘留ヲ釋ク方法ニシテ責付トハ被告人ノ請求アルト否トヲ問ハス豫審判事ノ職權ニ依リ被告人ノ拘留ヲ釋キテ其親族又ハ故舊ニ付托スル方法ナリ

(四)豫審終結

豫審終結トス豫審判事ハ訴訟記録ヲ檢事ニ送致シテ其意見ヲ求メタル後豫審終結ノ決定ヲ爲シ或ハ免訴ノ言渡ヲ爲シ或ハ管轄裁判所ノ公判ニ付スルコトヲ言渡スヘシ檢事及ヒ被告人ハ法律ニ定メタル場合ニ於テ其決定ニ對スル抗

告ヲ爲スコトヲ得

第二 判決ノ手續

判決ノ手續
公判

刑事ノ裁判ハ之ヲ公判 Audience publique ト謂フ公判ハ即チ豫審ノ終結又ハ直接ノ起訴ニ因リ管轄裁判所カ事實ノ審判及ヒ法律ノ適用ヲ爲スモノニシテ其手續ハ訊問、辯論及ヒ裁判言渡ノ三段ヨリ成リ之ヲ公行スルヲ原則トス若シ公訴ニ附帶シテ私訴起リタル場合ニハ裁判所ハ同時ニ其判決ヲ爲スヘシ但私訴ノ取調十分ナラサルモノアルトキハ先ツ公訴ノ判決ヲ爲シタル後ニ之ヲ判決スルコトヲ得

閱席判決

呼出ヲ受ケタル被告人公判期日ニ出頭セサルトキハ檢事ノ請求ニ因リ又私訴關係人出頭セサルトキハ民事原告人ノ請求ニ因リ裁判所ハ一定ノ條件ニ從ヒ其判決ヲ爲ササルヘカラス之ヲ闕席判決 Contumace ト謂フ闕席者ハ其判決ニ對シ一定ノ期間ニ故障ヲ申立ツルコトヲ得若シ裁判所カ故障ノ申立ヲ受理シタルトキハ更ニ通常ノ公判ヲ開キテ其事件ノ裁判ヲ爲ササルヘカラス

第二節 第一審ノ民事訴訟

民事訴訟
手續ノ種
類

民事訴訟
上ノ主義

民事訴訟ノ手續ニハ通常手續ト特別手續トアリ通常手續ハ民事訴訟ニシテ確定ノ判決ト執行力トヲ得ル目的ヲ以テスル場合ニ用キ特別手續ハ公益上ノ必要又ハ簡易迅速ヲ要スルノ必要アリテ通常手續ニ依ルコトヲ得サル場合ニ用キルモノナリ即チ區裁判所地方裁判所ノ訴訟手續ハ通常手續ニシテ人事訴訟手續破産手續又ハ簡易訴訟手續例ヘハ爲替訴訟又ハ假差押假處分手續等ノ如キハ皆特別手續ナリ此ニ説ク所ハ専ラ通常手續ニ關ス

民事訴訟ノ審判ニハ干涉主義ト放任主義トアリ干涉主義ニ依レハ裁判所ハ當事者ノ陳述又ハ申立ニ拘束セラレスシテ審理上必要ナリト認ムル訴訟行爲ヲ爲スコトヲ得放任主義ニ依レハ裁判所ハ唯當事者ノ陳述又ハ申立ニ本ツキテ裁判セサルヘカラス我民事訴訟法ハ主トシテ放任主義ヲ採リ或ル例外ノ場合ニ干涉主義ヲ交フ又口頭主義ト書面主義トアリ口頭主義ニ依レハ裁判所ハ單ニ口頭辯論ニ於テ爲シタル當事者ノ陳述又ハ申立ニ本ツキテ裁判スヘク書面主義ニ依レハ裁判所ハ單ニ當事者カ差出シタル書面上ノ陳述又ハ申立ニ本ツキテ裁判スヘシ然レトモ此主義ノ一方ヲ偏用スルコトハ實際難シ我民事訴訟

判決前ノ
訴訟手續

(一)起訴
出

訴狀ノ送
達

權利拘束
ノ關係

第一 判決前ノ手續

判決前ノ手續ハ之ヲ起訴、答辯、口頭辯論及ヒ證據調ノ四種ニ分ツ

(一) 起訴 原告カ訴狀ヲ裁判所ニ差出スヲ起訴 Pursuit トス訴狀ハ所謂準備

書面ノ一ニシテ其差出アリタルトキハ裁判所ハ之ヲ被告ニ送達スルコトヲ要ス送達方法ハ或ハ執達吏ニ依リ或ハ郵便ニ依ル又囑托送達又ハ公示送達ト稱スルモノアリ囑托送達ハ他ノ官廳ニ囑托スル送達ノ方法ニシテ公示送達ハ通常ノ送達ヲ爲ス能ハサル場合ニ其送達スヘキ書類ヲ裁判所ノ掲示板ニ貼付スルモノナリ而シテ一旦訴狀ノ送達アルトキハ權利拘束 Rechtshängigkeit ノ關係ヲ生ス從ヒテ當事者ノ一方カ本案ノ訴訟ニ關シテ他ノ裁判所ニ訴フル場合ニハ他ノ一方ハ防訴ノ抗辯 Exceptio ヲ爲スコトヲ得受訴裁判所ハ其以後ニ其管轄

ヲ變更セラルルコトナク又原告ハ被告ノ承諾ヲ得スシテ請求ノ原因ヲ變更スルコトヲ得ス

(二) 答辯

(一) 答辯 被告カ原告ノ請求ニ對スル諾否ヲ答辯トス被告ハ訴狀ノ送達ヲ受ケテヨリ一定ノ期間内ニ答辯書ヲ差出スコトヲ要ス又是レ所謂準備書面ノ一ナリ其答辯書ヲ以テスル答辯ニ二アリーヲ防訴ノ抗辯トシ一ヲ本案ノ答辯トス防訴ノ抗辯ハ被告カ本案ニ入りテ答辯スルコトヲ拒ム方法ニシテ其抗辯ニ六種アリ無訴權ノ抗辯例ヘハ民事裁判所ニ行政訴訟ヲ提起スル能ハスト云フカ如キ抗辯裁判所管轄違ノ抗辯權利拘束ノ抗辯訴訟能力又ハ法律上代理權欠缺ノ抗辯訴訟費用保證欠缺ノ抗辯前訴訟費用未濟ノ抗辯延期ノ抗辯是レナリ本案ノ答辯ニハ被告カ原告ノ請求ヲ至當トシテ之ヲ認諾スルコトアリ又其請求ノ全部又ハ一分ヲ爭フコトアリ而シテ其爭ハ更ニ之ヲ法律上ノ爭ト事實上ノ爭トニ區別スルコトヲ得

(三) 口頭辯論

(三) 口頭辯論 口頭辯論ハ原告ニ於テハ訴狀ニ本ツキ被告ニ於テハ答辯書ニ本ツキテ一定ノ中立ヲ爲シ書面ニ認メタル事實ヲ更ニ口頭ヲ以テ陳述スル

方法ナリ而シテ口頭辯論ハ必スシモ其準備書面ニ拘束セラレシテ之ヲ爲スコトヲ得又文字上ノ爭アル場合ノ外書類ニ準據シ書類ヲ援用スルコトヲ要セス若シ一ノ訴訟ニ關シテ防訴ノ抗辯起リタルトキハ裁判所ハ本案ノ辯論ニ入ルニ先チ防訴ノ抗辯ニ付キテ辯論ヲ始メサルヘカラス其防訴ノ抗辯ニシテ理由アルトキハ裁判所ハ終局判決 Judgement final, Endurtheit ヲ以テ原告ノ訴訟ヲ棄却シ理由アラサルトキハ中間判決 Judgement interlocutoire, Zwischenurtheit ヲ以テ其抗辯ヲ棄却シ其中間判決ノ確定シタル後本案辯論ヲ續行ス

(四) 證據調

(四) 證據調 凡ソ一定ノ主張ヲ爲ス者ハ證明ノ責任ヲ有セサルヘカラス是レ證據上ノ原則タリ故ニ當事者ハ通常準備書面ニ於テ證據方法ヲモ記載シ口頭辯論ノ日ニ至リテ更ニ之ヲ陳述スルモノトス然レトモ當事者ノ陳述スル一切ノ事項ハ悉ク證明ヲ要スルニ非ス或ル事實ノ陳述ニ於テ證明ノ必要アルモノハ其事實カ當事者双方ノ間ニ爭ヲ生セシトキ及ヒ其事實カ判決ニ缺クヘカラサルトキニ限ル而シテ如何ナル場合ニモ法律上ノ爭ハ證明ノ責任ヲ生セス但外國法ハ内國ニ於テハ一ノ事實ト看做サル又顯著ナル事實ハ證明ヲ爲スノ

證據調ノ
手續

證據保全
ノ手續

判決ノ手
續

必要ナシ又法律ニ於テ一方ノ利益ノ爲メニ推定ヲ設クタル場合若クハ相手方
 カ其裁判上ノ自白ヲ爲シタル場合ニハ證明ノ責任ヲ免ル
 證據調ハ檢證人證書證鑑定本人訊問等ニ依リ裁判所カ口頭審理主義ニ基ツキ
 テ其手續ヲ爲スヲ通則トス唯例外ノ場合ニ於テ受命判事又ハ受託判事ヲシテ
 之ヲ行ハシムルノミ而シテ證據調ハ其性質トシテ通常當事者カ一定ノ陳述ヲ
 爲シタル後ニ其必要ヲ見ルモノナレトモ或ル場合ニハ當事者カ未タ一定ノ陳
 述ヲ爲ササルハミナラス訴訟ノ未タ全ク起ラサル以前ニモ尙ホ證據調ヲ爲ス
 コトアリ是レ證據紛失又ハ湮滅ノ恐アル場合ニ行ハルルモノニシテ法律上特
 ニ之ヲ證據保全ノ手續ト名ツク

第二 判決ノ手續

判決ハ口頭辯論ヲ經タル後當事者ノ權利義務ヲ確定ルスカ爲メニ行フ裁判ニ
 シテ之ヲ書面ニ記載スルヲ要ス判決ノ言渡ハ判決主文ノ朗讀ヲ以テ之ヲ爲セ
 トモ缺席判決ノ言渡ハ其主文ヲ作ラサル以前ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得而シテ
 缺席判決ヲ受ケタル當事者カ一定ノ期間内ニ故障ヲ申立ツルコトヲ得ルハ刑

事訴訟ニ於ケルト異ナル所ナシ

第三節 上訴及ヒ再審

刑事又ハ民事ノ判決一タヒ下リテ訴訟其局ヲ結フトキハ法律ニ依ル一定ノ救
 濟方法ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ動スコトヲ得ス其法律ニ定メタル救濟方法
 ニハ二種アリ一ヲ通常ノ方法トシ一ヲ非常ノ方法トス上訴ハ通常ノ方法ニシ
 テ再審ハ非常ノ方法ナリ

第一 上訴

上訴トハ未確定ノ裁判ニ對シテ上級裁判所ニ不服ヲ訴フルヲ謂フ我國法ニ於
 テ上訴ト稱スルモノハ控訴上告及ヒ抗告ノ三種トス皆一定ノ條件ニ依リ一定
 ノ期間内ニ之ヲ爲ササルヘカラス若シ其期間ヲ經過スルトキハ裁判ハ直ニ確
 定ス而シテ一タヒ提起セラレタル上訴ハ裁判ノ確定ヲ遮斷スルノ效力ヲ有ス
 ルカ故ニ凡ソ上訴アレハ原裁判ノ執行ヲ停止スレトモ民事ニ於テハ或ル場合
 ニハ假執行ヲ許スコトアリ又抗告ハ原則トシテハ裁判ノ執行ヲ停止セサルモ

通常及ヒ
非常ノ救
濟方法

上訴ノ性
質及ヒ效
力

上訴ノ種
類

(一) 控訴
控訴ヲ爲シ得ヘキ判決

ノトス
(一) 控訴 Appel, Berufung トハ第一審ノ判決ニ對シテ上級裁判所ニ不服ヲ訴フルヲ謂フ而シテ其第一審ノ判決ハ終局判決又ハ上訴ニ付キテ終局判決ト看做スヘキ判決ナラサルヘカラス即チ本案ノ判決ナルカ又ハ本案以前ノ判決ナルモ其中間判決カ上訴ニ付キテ本案ノ判決ト同様ニ看做サルモノナルコトヲ要ス例ヘハ刑事ニ付キテ云ヘハ管轄違又ハ公訴受理スヘカラサルノ申立ニ對シテ爲シタル却下ハ本案前ノ判決ナレトモ法律ハ其控訴ヲ許シ又民事ニ付キテ云ヘハ防訴ノ抗辯ヲ棄却スル判決ニ對シテハ終局判決ト看做シテ控訴ヲ許セルカ如キハ即チ是レナリ

(二) 上告
上告ヲ爲シ得ヘキ判決

(二) 上告 Pouvoi en cassation, Revision トハ第二審ノ判決ニ對シテ法律適用ノ點ノミニ制限セラレタル不服ノ訴ナリ語ヲ換ヘテ云ヘハ第二審ノ判決ヲ法律ニ違反セルモノトシテ上訴スルモノナリ而シテ其第二審ノ判決カ終局判決ナルカ又ハ中間判決カ上訴ニ付キテ終局判決ト看做サレタルモノニ關シテノミ上告ヲ爲シ得ルコトハ控訴ニ於ケルト異ナル所ナシ

(三) 抗告
抗告ヲ爲シ得ヘキ場合

(三) 抗告 Opposition, Beschwerde トハ終局判決ニ非サル裁判ニ對スル不服ノ訴ナリ即チ抗告ハ刑事ニ於テハ公判ヲ經ス民事ニ於テハ口頭辯論ヲ經サル決定ニ對シテ爲ス上訴ニシテ法律ノ明文ニ依リテ特ニ之ヲ許シタル場合ニ限ル例ヘハ判事忌避ノ申請ヲ却下シタル決定ニ對スル抗告ノ如キハ刑事民事ノ訴訟法ニ共ニ認ムル所ニジテ其他抗告ヲ爲スコトヲ得ル場合ハ皆其各場合ニ明記ナカルヘカラス然レトモ唯民事訴訟ニ於テハ訴訟手續ニ關シテ爲シタル申請ヲ却下セラレタル場合ニハ一般ニ抗告ヲ爲スコトヲ許セリ而シテ抗告裁判所ハ民事ニ於テモ刑事ニ於テモ又抗告ノ執レノ場合ニ於テモ單ニ書面ニ本ツキテ裁判スルヲ原則トス是レ其裁判ハ所謂決定ナルモノニシテ判決ノ性質ヲ有セサレハナリ

民事訴訟法ノ特例

確定判決ノ意義

上訴ハ未確定ノ裁判ニ對シテ之ヲ爲スモノナルコトハ前ニ述ヘタルカ如シ故ニ若シ訴訟關係人ニ於テ上訴ニ關スル一定ノ期間ヲ經過シテ上訴ノ權利ヲ失ヒ又ハ上訴ノ權利ヲ拋棄シ又ハ既ニ一タヒ上訴シテ上訴ノ道絶エタルトキハ其裁判ハ確定ト爲ル又闕席裁判ニ對シテハ故障ノ申立ヲ爲スコトヲ得ルカ故

確定判決ノ效力

ニ一定ノ期間内ニ故障ノ申立アルトキハ其判決ハ自ラ消滅スルモ若シ此期間ヲ經過スルカ又ハ故障申立ノ權利ヲ拋棄スルトキハ其判決ハ確定ト爲ル故ニ確定裁判 *Jugement définitif, rechtskräftiges Urtheil* トハ故障又ハ上訴ノ方法ニ依リテ不服ノ訴ヲ爲スコトヲ得サル裁判ナリト謂フコトヲ得而シテ確定裁判ハ其訴訟事件ニ付キテ法律ニ均シキ效力ヲ有シ當事者ハ法律ト均シク之ヲ遵守セサルヘカラス既判効 *Autorité de la chose jugée, Rechtskraft* ト云フモノハ即チ是レナリ故ニ判決一タヒ確定スレハ刑事ニ於テハ同一ノ犯人ニ對シ同一ノ事件ニ付キテ再ヒ公訴ヲ起スコトヲ得ス民事ニ於テハ同一ノ當事者ニ對シ同一ノ事件ニ付キテ再ヒ訴訟ヲ起スコトヲ得ス

第二 再審

再審ノ意義
刑事ノ再審ト民事ノ再審ト著大ナル差異

再審 *Révision, Wiederaufnahme des Verfahrens* ハ非常救済ノ方法ニシテ既ニ確定セル終局判決ノ取消ヲ求メ更ニ其事件ニ付キテ裁判ヲ求ムルヲ謂フ再審ノ訴ヲ爲シ得ヘキ場合ハ刑事ト民事トニ於テ固ヨリ相異ナレトモ其場合ハ總テ法律ニ一定セリ又其訴ヲ爲ス手續並ニ其訴ヲ爲シ得ヘキ人モ亦全ク相異ナレリ又刑

裁判執行ノ意義

事ニ於テハ再審ノ訴ヲ爲スニ期間ナク何時ニテモ之ヲ爲スコトヲ得民事ニ於テハ一定ノ不變期間ニ於テセサルヘカラス又刑事ニ於テハ上告裁判所ニ於テ再審ノ判決ヲ爲セトモ民事ニ於テハ通常原裁判所ノ專屬タリ又刑事ニ於テハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事及ヒ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ外一定ノ人ヨリ再審ノ訴ヲ爲スコトヲ得レトモ民事ニ於テハ常ニ訴訟當事者ヨリ之ヲ爲スノミ又刑事ニ於テハ再審ノ判決ニ對シテ上訴ノ道ナシト雖モ民事ニ於テハ普通ノ規則ニ從ヒテ上訴シ更ニ再審ヲ求ムルコトヲ得此等ノ點ハ再審ノ手續ニ關シテ刑事ト民事トノ間ニ存スル差異ノ著大ナルモノナリ

第四節 裁判ノ執行

民事ト刑事トヲ問ハス裁判確定スルトキハ訴訟當事者ハ之ニ羈束セラルヘク國家ハ公力ヲ以テ之ヲ強行スルコトヲ得ヘシ刑事ニ於テ裁判執行ト云ヒ民事ニ於テ強制執行ト云フモノハ即チ是レナリ

(一) 刑事裁判ノ執行 刑事裁判ノ執行ハ刑ノ執行ヲ主トス刑ノ執行ハ判決

確定ノ後ハ直ニ之ヲ爲スコトヲ得ヘキモノナルモ尙ホ其執行ニ必要ナル條件ヲ盡ササルヘカラス例ヘハ死刑ノ執行ハ司法大臣ノ命令ヲ待ツコトヲ要シ懷胎ノ婦女ニ對シテハ分娩後一定ノ猶豫期日ヲ與フルコトヲ要スルカ如シ若シ夫レ刑ノ執行ヲ指揮監督スルハ専ラ檢事ノ職務ニ屬ス

(二) 強制執行。民事上敗訴者ニ對シテ強制執行ヲ爲スニモ亦一定ノ要件アリ例ヘハ判決ニ執行文ヲ付スルカ如キハ是レナリ而シテ執行名義即チ強制執行ノ理由タリ得ヘキモノハ確定ノ終局判決ヲ以テ主トスレトモ未確定ノ終局判決モ亦假執行ノ宣言ヲ爲シテ之ヲ執行スルコトアリ又公正證書和解調書外國裁判所ノ判決ニ付シタル執行判決其他執行名義タルコトヲ得ルモノ少カラス其何レノ名義ニ出ツルヲ問ハス強制執行ハ或ハ裁判所自ラ之ヲ行フコトアリ或ハ執達吏ヲシテ之ヲ行ハシムルコトアリ而シテ其方法ハ金錢債務ノ履行ヲ強制スルニハ債務者ノ財産ヲ差押ヘ金錢以外ノ財産ハ之ヲ競賣ニ付シ競落代金ヲ以テ辨濟ニ充ツルヲ通常トシ其他ノ債務ノ履行ヲ強制スルニハ債務者カ特定ノ動産又ハ代替物ノ一定ノ數量ヲ引渡スヘキ場合ニハ執達吏之ヲ債務

者ヨリ取上ケテ債權者ニ引渡スモノトス

第四章 特別訴訟手續

此ニ特別訴訟手續ト云フハ民事訴訟手續ノ特別ナルモノヲ指ス其最モ主要ナルモノヲ人事訴訟手續及ヒ破産手續トス

第一 人事訴訟手續

人事訴訟トハ親族法上及ヒ相續法上ノ關係ヨリ生スル特別ノ訴訟ニシテ之ヲ四種ニ大別スルコトヲ得一、婚姻事件及ヒ養子縁組事件ニ關スルモノ、(二)親子關係事件、相續人廢除事件及ヒ隱居事件ニ關スルモノ、(三)禁治產、禁治產ニ關スルモノ、(四)失踪ニ關スルモノ、是レナリ婚姻事件ニ關スル訴訟ハ婚姻ノ無效若クハ取消、離婚又ハ夫婦同居ヲ目的トシ養子縁組ニ關スル訴訟ハ養子縁組ノ無效若クハ取消又ハ離婚ヲ目的トシテ之ヲ提起スルモノニシテ此二箇ノ訴訟ハ往往互ニ相附帶スルコトアリ親子關係事件ニ關スル訴訟ハ子ノ否認、認知、認知ノ無效若クハ取消、父ノ確定親權若クハ財産管理權ノ喪失又ハ失權ノ取消等ヲ目的

人事訴訟
ノ特色

トシ相續人廢除事件ニ關スル訴訟ハ推定家督相續人又ハ推定遺產相續人ノ廢除若クハ廢除ノ取消ヲ目的トシ隱居事件ニ關スル訴訟ハ隱居ノ無效若クハ取消ヲ目的トス禁治產準禁治產ニ關スルモノハ禁治產準禁治產ノ申立又ハ其宣告ニ對スル不服ノ申立ニシテ失踪ニ關スルモノハ失踪ノ宣告又ハ其取消ノ申立トス而シテ人事訴訟ハ其何レノ種類ニ於テモ單ニ一人ノ私益ニ關スルニ非スシテ廣ク社會、公益ト相關スルヲ以テ普通ノ訴訟ト異ナリテ公益ノ代表者タル、檢事ヲシテ其訴訟ニ干與セシムルヲ趣旨トス即チ檢事ハ職權ニ依リテ自ラ訴訟ヲ提起スルコトヲ得又當事者ノ提起シタル訴訟ノ辯論ニ立會ヒテ意見ヲ述フルコトヲ要ス

人事訴訟
ノ裁判籍

人事訴訟ノ裁判籍ハ訴訟ノ種類ニ依リテ差異アレトモ概ネ地方裁判所ノ專屬トス即チ婚姻事件ニ關シテハ夫、養子縁組事件ニ關シテハ養親、親子關係事件ニ關シテハ子又ハ親權ヲ行フ者、相續人廢除事件又ハ隱居事件ニ關シテハ被相續人又ハ隱居者カ普通裁判籍ヲ有シ又ハ其死亡ノ時ニ有シタル地方裁判所ノ管轄ニ專屬スルモノトス禁治產、準禁治產ニ關シテハ其宣告ヲ受クヘキ者カ普通

破産法ノ
性質

裁判籍ヲ有スル地ノ區裁判ノ管轄ニ專屬シ其宣告ニ對スル不服ノ申立ハ區裁判所ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所ノ管轄ニ專屬シ失踪ニ關シテハ不在者ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄ニ專屬スルモノトス

第二 破産手續

破産 Bankruptcy, faillite, Konkurs ニ關スル規定ハ從來之ヲ商法中ニ編入シタルモノ多シ我舊商法ノ如キモ亦然リ然レトモ破産法ハ新ニ權利義務ノ關係ヲ定ムルニ非スシテ既存ノ權利義務ノ實行方法ヲ定ムルモノナレハ其性質助法ニ屬シ之ヲ商法中ニ編入スルハ適切ナラス故ニ現行法ハ破産法ヲ除外シテ別ニ之ヲ單行法トセリ

破産ノ意

況ク破産ト云フヘキハ債務者カ債務ヲ支拂フコトヲ得スシテ其資産ヲ傾クルノ状態ヲ指セトモ破産法ニ依レハ商人カ支拂ヲ停止シタルトキハ本人又ハ債權者ノ申立ニ因リ決定ヲ以テ破産ヲ宣告ストアリ故ニ破産ハ獨リ商人ノ支拂停止ノミニ適用セラル通常人ノ無資力ノ場合ニハ別ニ家資分散法ヲ適用スルモノトス支拂停止トハ商人カ其債務ヲ辨濟スルコト能ハサルノ状態ニシテ一

支拂停止

破産宣告

定ノ期日内ニ本人自ラ届出ツルコトヲ要ス若シ其届出ヲ怠ルトキハ過怠破産ノ宣告ヲ受ケサルヘカラス破産ノ宣告ハ本人又ハ債権者ノ申立ニ因ルヘキモノニシテ裁判所ノ職權ヲ以テスルコトヲ得ス而シテ其宣告ヲ爲スニハ決定ヲ以テシ決定書ニハ一定ノ事項ヲ記載シ且之ヲ公告セサルヘカラス蓋シ破産ノ宣告ハ普通ノ裁判宣告ト異ナリ其效力カ獨リ當事者ニ止ラスシテ一般ニ及フモノナレハナリ

破産ノ種類

破産ニ二種アリ尋常破産及ヒ有罪破産是レナリ尋常破産トハ破産者カ民事上ノ制裁ヲ受クルニ止ルモノヲ謂ヒ有罪破産トハ破産者カ併セテ刑事上ノ制裁ヲ受クルモノヲ謂フ有罪破産ハ又之ヲ細別シテ詐欺破産及ヒ過怠破産トス商人カ債権者ヲ欺罔シ不正ノ損害ヲ被ラシメントスルノ惡意アリタルトキハ其破産ヲ詐欺破産トシ商人ノ過失懈怠ニ因リテ支拂ヲ停止スルノ已ムヲ得サルニ至リタルトキハ其破産ヲ過怠破産トス尙ホ如何ナル場合カ詐欺破産ト爲リ又過怠破産ト爲ルカハ法律ニ列記セル所ニ依ルノ外ナキナリ

破産ノ效力

破産ノ效力ハ破産者ニ對スルモノト債権者ニ對スルモノトニ區別シテ之ヲ考

察スルコトヲ要ス破産者ニ對スル破産ノ效力ハ破産者ヲシテ財産處分權ヲ喪失セシムルニ在リ故ニ破産者ノ爲シタル支拂取引其他一切ノ法律行爲ハ無効ト爲ル債権者ニ對スル破産ノ效力ハ各債権者ヲシテ各自獨立ノ活動ヲ爲サシメスシテ一團體ヲ組成セシムルニ在リ即チ破産宣告アリタル後ハ各債権者ノ請求權ハ總債権者共同ノ請求權ト爲ル是レ法律カ各債権者ヲ保護シテ公平無偏ノ辨濟ヲ得シメントスルニ外ナラス故ニ其結果トシテ破産者ハ期限ノ利益ヲ失ヒ辨濟期限ニ至ラサル破産者ノ債務モ亦既ニ辨濟期限ニ達シタルモノト看做サレ又破産者ノ債務ハ破産宣告ノ日ヨリ利息ノ發生ヲ停止シ又各債権者ハ擔保物權其他特ニ優先權ヲ有セサル以上ハ破産者ノ財産ニ對シテ獨立ノ請求權ヲ行フコトヲ得ス而シテ債権者カ此ノ如ク各個ノ請求權ヲ行使スルコト能ハサルト同時ニ破産者ノ財産モ亦之ヲ一括シテ一ノ財團ヲ組成ス之ヲ破産財團 Masse Konkursmasse ト謂フ破産主任官破産管財人等ハ其財團處分ノ爲メニ裁判所カ選定スル所ノ機關ナリ破産財團ノ處分ニハ保全處分管理處分及ヒ換價處分アリ保全處分トハ破産者ノ逃亡ヲ防キ並ニ財産ノ隱匿喪失ヲ防クカ爲

メニ行フ處分ニシテ破産者ノ動産ヲ封印シ其身體ヲ監守シ破産者ノ債權ニ關シテ拂渡差押ノ命令ヲ發スルカ如キハ皆之ニ屬ス管理處分トハ破産者ノ財産ヲ保管シ又之ヲ取揃フルカ爲メニスル一切ノ處分ニシテ換價處分トハ其財産ヲ賣却シテ金錢ニ換フル處分ナリ

破産ハ通常破産債權ノ配當ニ依リテ其局ヲ結フト雖モ尙ホ此外ニ破産手續ノ停止及ヒ協諧契約アルトキハ破産ノ終局トス破産債權ノ配當ハ破産手續ノ費用ヲ償却シテ尙ホ殘餘アルトキニ各債權者ノ請求額ニ比例シテ之ヲ爲スモノニシテ破産終局ノ通常ノ場合トス破産手續ノ停止ハ破産者ノ財産カ破産手續ノ費用ヲモ償却スルニ足ラサルトキニ法律ニ依リテ當然命セラルルモノニシテ此ノ如キ場合ニハ債權ノ配當ヲ爲スノ途ナキヲ以テ裁判所ハ法律ニ依リテ其手續ヲ停止シ其停止後ハ各債權者ヲシテ獨立ノ請求權ヲ行ハシム協諧契約トハ一種ノ和解契約ニシテ總債權者ト破産者トノ間ニ債權者ハ債權ノ一部分ヲ拋棄シ若クハ猶豫期限ヲ與へ破産者ハ或ル方法ニ依リテ債務ヲ辨濟スヘキコトヲ約スル契約ナリ故ニ協諧契約ハ債權者及ヒ破産者ニ於テ共ニ利益ナル

モノニシテ其成立スルコトヲ得ル場合ニ強ヒテ破産處分ヲ遂行スルノ必要ナシ然レトモ自由ニ之ヲ放任スルトキハ或ハ債權者ニ不正ノ損害ヲ來シ又破産者カ不正ノ利得ヲ爲スノ恐ナシトセス是レ法律カ申出及ヒ決議ニ一定ノ條件ヲ付スル所以ナリ

第七編 國際公法

國際公法ノ淵源

國際公法カ法律ナルコトハ總論ニ於テ既ニ之ヲ論セリ然レトモ之ヲ國內法ニ比スルニ其情形頗ル異ナレルモノアリ故ニ今茲ニ其淵源ニ就キテ少シク攻究セサルヲ得ス國際公法ノ淵源モ亦之ヲ直接淵源ト間接淵源トニ區別スルコトヲ得直接淵源ハ國際法規ノ成立ニ缺クヘカラサルモノニシテ慣習及ヒ條約是レナリ間接淵源ハ國際法規ノ成立ヲ助クルニ過キササルモノニシテ國法判決學說及ヒ外交文書等是レナリ

國際公法ノ行ハルル區域

國際公法ノ沿革ハ姑ク舍カン唯其初歐洲諸國ニ於テ發生シ漸次發達變遷シテ以テ今日ニ至レルコトハ掩フヘカラサルノ事實ナリ故ニ從來學者ハ國際公法カ獨リ基督教國又ハ文明國ノ間ニノミ存スルコトヲ唱道セシモノ少シトセス然レトモ其偏見タルコトハ固ヨリ論ヲ待タス基督教國ニ非サル我日本國カ完全ナル國際公法上ノ權利ヲ有シ半開國タル支那暹羅波斯等ノ諸國モ亦等シク國際團體ニ加入スルヲ以テ見レハ現時國際公法ノ行ハルル區域ハ蓋シ自ラ明

ナラン

第一章 國家ノ基本權

國家基本權ノ意義

國家カ國際公法上ノ主體タルコトハ言ヲ待タス國家基本權 Fundamental right, droit fondamental, Grundrecht トハ即チ國家カ國際公法上完全ナル主體トシテ當然享有スヘキノ權利ニシテ特別ノ條約若クハ慣習ニ依リテ之ヲ享有スルモノニ非ス但特別ノ條約若クハ慣習ハ却テ此權利ヲ制限スルコト往往ニシテアリ然ルトキハ其國家ハ國際公法上ノ主體トシテ不完全ナルモノト爲ル
國家基本權ノ種類ニ就キテハ多少ノ異說ヲキニ非サレトモ五種ニ分ツテ通常トス

第一 自衛權

第一、自衛權ノ性質

自衛權 Droit de conservation, Recht der Selbsterhaltung ヲハ國家カ各自其存立ヲ維持スルノ權利ニシテ國家ハ其存立ヲ害セントスル一切ノ事實ニ對シテ極力之ヲ除去スルコトヲ得其最モ重大ナル事實ハ他國ノ陰謀ナリ此ノ如キ場合ニハ國家

ハ自衛ノ必要上或ハ他國ノ内治外交ニ干涉シ或ハ兵ヲ他國ノ領土ニ進メ或ハ直ニ戦闘ヲ開始スル等如何ナル緊急手段ヲ執ルモ毫モ不可ナルコトナシ曩ニ我邦カ兵ヲ韓國ニ進メ又露國ト戦ヒタルカ如キハ一ニ自衛ノ必要ニ出テタルナリ學者或ハ自衛權ヲ別チテ自國ハ有形上又ハ無形上ハ發達ヲ計ルハ權 Parfectibilité 防衛權 Défence 保安權 Surté 要償權 Indemnité 等トシ且其種類ヲ限定セントスルモノナキニ非ス然レトモ此等諸權利ハ只自衛權ノ概目ニ止ルノミ要ハ一國家ノ行動カ自衛ノ必要ニ出ツルヤ否ヤヲ見テ其正否ヲ決スヘキナリ

自衛權ハ條約ニ因リテ制限セラルルコトアリ千八百五十六年ノ巴里條約ニ依リテ露國カ黑海ニ軍艦ヲ浮ヘ又其沿岸ニ城寨ヲ築クコトヲ禁セラレタルカ如キハ著名ノ例トス又清國カ威海衛、膠州灣、關東州等ノ租借ヲ約シタルカ如キモ其自衛權ヲ制限セラレタルモノナリ

第二 獨立權

獨立權 Droit d'indépendance, Recht der Unabhängigkeit トハ國家カ其内治及ヒ外交ニ於テ他國ノ牽制ヲ受ケサルノ權利ニシテ國家ハ此權利ヲ有スルカ爲メ内ハ自

自衛權ノ制限

第二、獨立權ノ性質

國際團體共同ノ利益ヲ生ズルヨリ

獨立權ノ制限

第三、平等權

由ニ立法、司法、行政ノ諸權ヲ行使シ又必要ニ應シテ政體ヲ變更スルコトヲ得外ハ使臣ノ授受、條約ノ締結又ハ宣戰媾和等ニ關シテ毫モ他國ノ干涉ヲ容ルルコトナシ故ニ或ハ此權利ヲ自由權 Droit à la liberté ト名ツケ其内部ニ對スルモノヲ自主權 Autonomie トシ外部ニ對スルモノヲ獨立權トスル者アリ

現今諸國ハ國際團體共同ノ利益ノ爲メ諸種ノ條約ヲ締結シテ政治上經濟上相互ノ不便宜ヲ避クルコト多シ領事職務條約、犯罪人引渡條約、郵便條約、電信條約、工業所有權保護同盟條約、著作物保護同盟條約等ハ皆此趣旨ニ出ツ故ニ國家ノ獨立權ハ實際ニ於テハ絶對無限ナルニ非ス國際團體共同ノ利益ノ爲メニハ固ヨリ多少ノ制限ヲ受ケサルヘカラス然レトモ所謂獨立權ノ制限トハ斯ル制限ヲ指スニ非ス特別ノ條約ヲ以テスル制限ニシテ例ヘハ一國カ條約ニ依リテ他國ノ被保護國又ハ附庸國ト爲ルカ如キハ其著シキモノナリ又公法上ノ租借地又ハ領事裁判ノ如キモ亦獨立權ノ制限ヲ來タスモノトス

第三 平等權

國家ハ各自獨立權ヲ有ス故ニ其相互ノ間、一樣平等ナラサルヘカラス之ヲ國家

ノ平等權 *Droit d'égalité*, *Recht auf Gleichberechtigung* ト謂フ而シテ此權利ハ國家カ外交上ノ實際ニ有スル勢力又ハ國家ノ名稱等トハ毫モ相關セス故ニ例ヘハ一等國二等國等ノ區別又ハ帝國王國等ノ區別ノ如キハ法律上ニ於テハ何等ノ意義ナキモノトス國土ノ大小實力ノ強弱ハ國際法上ノ平等權ヲ妨ケサルコト猶ホ各人カ法律上平等ナルカ如シ

第四、相互尊重權

國家ハ互ニ他國ノ獨立權ヲ尊重セサルヘカラス故ニ國家ハ他國ニ對シ自國ノ品、位、ヲ維持シ榮譽ヲ保全スルノ權利ヲ有ス之ヲ稱シテ相互尊重權 *Droit au respect*, *Recht auf Achtung u. Ehre* ト云フ國家ノ元首若クハ使臣等カ外國ニ在リテ一定ノ特權ヲ有シ又他國ノ政府若クハ國民ヲシテ自國ノ國號、印璽、國旗、軍艦旗、紋章等ニ對シ侮辱ヲ加ヘ又ハ誤用スルコトナカラシムルカ如キハ皆此權利ノ結果トス

第五、自由交通權

數國相集リテ國際團體ヲ組成スル以上ハ相互交通ノ必要アルコトハ論ヲ待タ

國家カ國際法上ノ特別ナル權利ヲ取得ス其權

ス一ノ國家カ苟モ國際團體ニ於テ權利ノ主體トシテ承認セララルル以上ハ自由交通ノ權利 *Droit de libre commerce*, *Recht auf auswärtigen Verkehr* ヲ有シ又同時ニ其義務ヲ負ハサルヘカラス故ニ國家ハ相互ニ交通ノ要求ヲ拒絕スルコトヲ得ヌ又第三國ハ其交通ヲ遮止シ若クハ妨碍スルコトヲ得ヌ各國カ自由ニ公海ヲ航行スルノ權利ヲ享有スルモ亦實ニ此交通權ノ結果タラスンハアラス而シテ國際交通權ハ之ヲ大別スルトキハ各國政府カ公務上相互ニ交通スルハ權利ト各國臣民ヲシテ相互ニ交通セシムルハ權利トスルコトヲ得前者ノ關係ハ主トシテ國際慣習ニ本ツキテ定マリ後者ノ關係ハ主トシテ通商條約ニ因リテ定マル

第二章 國際條約

前章ニ説明セル基本權ノ外、國家ハ國際法上種種ノ特別ナル權利ヲ取得ス其權利取得ノ原因ニ關シテハ民法殊ニ羅馬法ノ區別ニ倣ヒテ之ヲ契約、準契約、不法行為、準不法行為ノ四種トスル學者多シ然レトモ國際關係ニ於ケル準契約ハ極メテ稀有ノ事ニ屬ス不法行為ハ一國ノ政府カ故意又ハ過失ニ因リテ他國ノ國

際法上ノ權利ヲ侵害シタル場合ニ生シ準不法行爲ハ一國ノ臣民カ他國ノ國際法上ノ權利ヲ侵害シタル場合ニ生ス此等ノ事實ハ固ヨリ往往ニシテ發生スルコトアルモ其場合ニ被害者タル國家カ取得スル權利ハ損害賠償若クハ謝罪ヲ請求スルノ權利タルニ過キス故ニ此ニ必スシモ之ヲ論セス獨リ契約即チ條約ハ權利取得原因中最モ顯著ナルモノニシテ且攷究ヲ要スル點少カラス左ニ逐次之ヲ明ニセン

第一 國際條約ノ性質

國際條約 *Contrat international, Staatsvertrag* トハ國際法上ノ效果ヲ目的トスルニ以テ上ノ國家間ノ合意ヲ謂フ故ニ國際條約ノ成立要素トシテハ(一)當事者タルニ以テ上ノ國家アリテ且其國家ハ國際法上ノ能力ヲ有セサルヘカラス故ニ聯邦國家ニ於ケル支分國被保護國又ハ附庸國等ハ自ラ條約ノ當事者ト爲ルコトヲ得ス(二)一定ノ目的アリテ且其目的ハ國際法上ノ效果ヲ生スルモノナルコトヲ要ス故ニ國際法ノ原則ニ違反スル事項又ハ不能ノ事項ヲ目的トスルコトヲ得ス(三)合意即チ當事國家ノ意思ノ合致アルコトヲ要ス是レ條約ノ性質上明白ノ事ト

國際條約ノ性質

國家其物ニ對スル強迫ハ條約ノ效力ヲ阻却セ

條約ノ拘束力

國內ニ於ケル效力

國際條約締結ノ場合

ス而シテ其意思表示ニ瑕疵アルコトヲ得サルノ理モ亦論ヲ俟タスト雖モ國際公法上強迫ハ全權委員其人ニ對スルニ非スシテ國家其物ニ對スルトキハ條約ノ效力ヲ阻却スルコトナシ戰後ノ媾和條約ノ如キニ於テ其實例ヲ見ル條約一タヒ成立スルトキハ締約國ハ當然之ニ拘束セラレサルヲ得ス若シ其條約カ締約國ノ憲法又ハ法律ニ牴觸スルトキハ締約國ハ其憲法又ハ法律ヲ改正スルノ義務アリ又新ニ法令ノ制定ヲ要スルトキハ之ヲ制定スルノ義務アリ若シ夫レ條約カ國內ニ於テ法規タルノ效力ヲ有スルカ將タ別ニ法令ノ形式ヲ採ルコトヲ要スルカノ問題ハ國內法ニ依リテ之ヲ決セサルヘカラス我邦ニ於テハ條約ハ條約トシテ法規タルノ效力ヲ有ス

第二 國際條約ノ締結

國際條約ヲ締結スルニハ通常當事國雙方ヨリ各一人又ハ數人ノ全權委員 *Plenipotentiaires, Bevollmächtigten* ヲ選定シテ會合協商セシム若シ數多ノ國家カ共同ノ條約ヲ締結セントスルトキハ多クハ國際會議ヲ開ク其會議ニ二種アリ一ヲ列國大會議 *Congrès* ト云ヒ一ヲ列國協議會 *Conférence* ト云フ此場合ノ列國全權

條約締結ノ手續

委員ノ數モ固ヨリ一人ニ限ラス二人以上タルヲ妨ケスト雖モ投票權ハ一國一箇トス其何レノ場合タルヲ問ハス協商若クハ決議ヲ終ハリタルトキハ條約書ヲ作り全權委員各自之ニ署名調印シ更ニ各本國ノ元首ノ批准 Ratification 又ハ議會ノ協贊ヲ經タル後條約始メテ成立スルモノトス而シテ廣ク條約書ト稱スル中ニハ所謂條約書ノ外議定書 Protocole 又ハ宣言書 Déclaration ト名ツクルモノアリ議定書ハ協議ノ結果ヲ證明スル文書ニシテ宣言書ハ決意ヲ表示スルノ文書ナリ又條約書ハ覺書 Mémoire 又ハ取極書 Arrangement, Uebereinkommen 等ノ名ヲ用キルコトアリ要スルニ其形式ハ異ナレトモ其效力ハ同シ

第三 國際條約ノ種類

條約ノ目的カ適法ニシテ且可能ナル以上ハ國家ハ如何ナル條約ヲモ締結スルコトヲ得故ニ國際條約ノ種類ハ一一之ヲ枚舉シ難シ唯其大體ニ就キテ見ルトキハ自ラ區別ナキニ非ス而シテ理論上左ノ二種ノ區別ヲ認ムルヲ可トス

(一) 國際公法ノ淵源タル條約 一定ノ期限内若クハ無期限ニ效力ヲ有スル條約ハ締約國ニ於テ國際關係上ノ法規トシテ之ヲ遵奉スヘキモノニシテ即チ國

國際條約ノ種類
(一) 國際公法ノ淵源タル條約

(二) 國際公法ノ淵源タル條約

國際條約消滅ノ原因
(一) 履行ノ終了

(二) 條件ノ發生

際公法ノ淵源タリ此種ノ條約ハ更ニ之ヲ細別シテ政治上ノモノ經濟上ノモノ及ヒ學術上ノモノトスルヲ得同盟條約、媾和條約、領事職務條約、犯罪人引渡條約等ハ政治上ノ條約ニ屬シ通商條約、郵便條約、電信條約、工業所有權保護同盟條約等ハ經濟上ノ條約ニ屬シ著作物保護同盟條約等ハ學術上ノ條約ニ屬ス

(二) 國際公法ノ淵源タル條約 國際條約ニシテ唯一時効力ヲ有シ其履行ニ因リテ直ニ消滅スルモノアリ例ヘハ國土割讓條約、國境確定條約等ノ如シ此等ノ條約ハ其效力一時ニ止リ國際法規ノ成立ト相關セス從ヒテ國際公法ノ淵源ト爲ルコトナシ

第四 國際條約ノ消滅

國際條約消滅ノ原因モ亦契約消滅ノ原因ト相類ス

(一) 履行ノ終了 條約ハ其履行ヲ終リタルトキニ消滅ス例ヘハ國土割讓條約カ割讓ノ手續ヲ終リタルニ因リ消滅スルカ如シ

(二) 條件ノ發生 停止條件ヲ附シタル條約ハ其條件ノ不成就ニ因リテ消滅シ解除條件ヲ附シタル條約ハ其條件ノ成就ニ因リテ消滅ス

(三)期限ノ滿了

條約ニハ期限ヲ付スルコト多シ然ルトキハ其期限ノ滿了ニ因リテ消滅ス若シ締約國ニシテ其條約ノ全部又ハ一部ヲ繼續セント欲セハ期限前ニ之ヲ約定スルコトヲ妨ケス條約ノ延期又ハ更新ハ此場合ニ生ス

(四)解除ノ行使

締約國ノ一方カ條約ニ違背スルトキハ他ノ一方ハ其條約ノ廢棄ヲ告知スルコトヲ得是レヲ解除權ノ行使トス但其事態重大ナルニ非ス

(五)雙方ノ合意

締約國ノ履行ト其違約ヨリ生セル損害賠償トヲ請求スルヲ常トス

(六)戰爭ノ開始

戰爭ノ開始ハ締約國間ニ於ケル一切ノ平時國際關係ヲ解除ス故ニ條約カ之カ爲メニ消滅スルコトモ亦自ラ明ナラン

第三章 國際機關

國際機關ノ意義

國際機關トハ國家ヲ代表シテ國際法上ノ權利義務ヲ行使スルモノニシテ廣ク其種類ヲ舉クレハ國家ノ元首及ヒ外務大臣モ亦等シク國際機關タリト謂フコ

トヲ得蓋シ國家ノ元首ハ外交ノ大權ヲ掌握シテ宣戰媾和ヲ爲シ及ヒ諸般ノ條約ヲ締結シ外務大臣ハ元首ヲ輔弼シテ外交事務ヲ管掌スレハナリ然レトモ通常國際機關ト云フトキハ外交官及ヒ領事官ヲ指ス左ニ此二機關ニ就キテ述ハ

第一 外交官

外交官ノ意義

外交官 Agent diplomatique トハ外國ニ派遣セラレテ本國ノ外交事務ヲ執ルモノニシテ廣義ヲ以テ云フトキハ大使館又ハ公使館ノ參事官書記官等ヲモ亦含ムコトヲ得レトモ國際公法上ノ意義トシテハ之ヲ含マサルモノノ如シ又條約締結ノ爲メニ任命セラレタル全權委員若クハ國際委員會ノ委員ハ外交官ト相近似スルモ外交官ニハ非ス唯全權委員ノ如キハ實際外交官ヲ以テ之ニ充ツルコト多キノミ

外交官ノ階級

外交官即チ使節ノ階級ニ四アリ曰ク大使 Ambassadeur, Botschafter 曰ク特命全權公使 Ministre et envoyé extraordinaire et plénipotentiaire, ausserordentlicher Gesandter und bevollmächtigter Minister 曰ク辨理公使 Ministre-résident, Minister-Resident 曰ク代理公使

外交官ノ
職任及ヒ

外交官ノ
職務及ヒ

Chargé d'affaires, Geschaftrager 是レナリ此階級ハ千八百十八年エックスマラシヤ
 ベルノ議定書ヲ以テ定マレルモノニシテ大使ハ直接ニ元首ヲ代表スルモノト
 看做サレ待遇殊ニ鄭重ナリ特命全權公使ハ直接ニ元首ヲ代表スルニ非スシテ
 元首ノ名ヲ以テ外交事務ヲ掌ルモノトシ辨理公使ハ其性質ニ於テ特命全權公
 使ト異ナル所ナク唯其席次下ルノミ代理公使ニ至リテハ元首ノ名ヲ以テ其職
 務ヲ執ルコトナク唯政府ノ名ヲ以テ之ヲ執ルモノトス要スルニ此四者ハ待遇
 上ノ差等アルノミニシテ其職務ニ於テハ皆異ナル所ナシ等シク本國ノ爲メニ
 國際法上ノ權利ヲ維持シ利益ノ伸張ヲ計ルノ任ニ當ル又其國際法上ニ有スル
 特權ニ於テモ皆異ナル所ナク其身體財產ノ不可侵ヲ保障セラルルト共ニ駐劄
 國ノ法律及ヒ裁判ニ服セス關稅其他一切ノ租稅ヲ免除セラルル而シテ此特權ハ
 營ニ使節ノミナラス大使館公使館ノ館員竝ニ其家族ニモ及フモノトス
 使節カ其駐劄國ニ於ケル任務ノ開始及ヒ終了ハ一定ノ方式ニ依ル即チ就任ノ
 方式ハ信任狀 Lettre de créance ノ捧呈トシ解任ノ方式ハ解任狀 Lettre de rappel ノ
 捧呈トス辨理公使以上ハ本國ノ元首ヨリ駐劄國ノ元首ニ宛テタルモノヲ携フ

レトモ代理公使ノ信任狀ハ本國政府ノ外務大臣ヨリ駐劄國政府ノ外務大臣ニ
 宛テタルモノトス解任狀モ亦同シ

第二 領事官

領事ノ性
質

領事 Consul ハ外國ニ駐在シテ本國ノ爲メニ駐在國ニ於ケル商業上ノ利益ヲ監
 視シ通商航海ノ保護船舶船員ノ取締及ヒ在留臣民ニ關スル特定ノ行政事務ヲ
 掌ルモノニシテ其職務ハ領事職務條約又ハ通商條約等ニ規定セラルルノ外尙
 ホ國內法ヲ以テ詳細ニ規定セラル我邦ニ於テ領事ノ職務ヲ規定シタルモノハ
 三十二年法律第七十號及ヒ領事官職務規則トス

領事ノ種
類

領事ハ之ヲ二種ニ大別ス專務領事 Consul missi, Berufsconsul 名譽領事 Consul electi,
 Waliconsul 是レナリ專務領事ハ官吏トシテ任用セラルルモノナレトモ名譽領事
 ハ官吏トシテ任用セラルルコトナク唯官吏ノ待遇ヲ受ク故ニ名譽領事ハ必ス
 シモ自國ノ臣民タルヲ要セス任地ノ臣民又ハ第三國ノ臣民ヲ以テ之ニ充ツル
 コトヲ得領事ハ又其階級ニ依リテ之ヲ四種ニ分ツ總領事 Consul général 領事 Con-
 sul 副領事 Vice-consul 領事代理 Agent consulaire 是レナリ總領事ハ二以上ノ領事管轄

領事ノ階
級

我邦ノ官制
領事ノ就任

區域ヲ總轄スルノ職權ヲ有シ領事ハ一箇ノ管轄區域ヲ限リテ其職務ヲ執リ副領事ハ總領事又ハ領事ノ下ニ在リテ其職務ヲ補助ス領事代理ニハ或ハ總領事又ハ領事故障アルトキ其職務ヲ代理スルモノト領事管轄區域廣キニ過クルニ當リテ其職務ノ一部ヲ代理スルモノトアリ我邦ノ官制ニハ領事代理ヲ設ケス別ニ領事官補 Consul-élevé ヲ設ク又領事官ヲ置カサル地ニハ貿易事務官 Agent commercial ナルモノヲ置クコトヲ得而シテ領事ノ就任ニモ亦一定ノ方式ヲ必要トス即チ本國政府ノ委任狀 Lettre de provision ヲ差出シテ駐在國政府ノ承認 Exequaturre ヲ得サルヘカラス領事代理又ハ領事官補ノ就任ニハ此方式ヲ要セス又貿易事務官ハ領事官ニ非サルヲ以テ此方式ノ適用ナキコトハ固ヨリ言ヲ待タサルナリ

第四章 國際紛爭

國際紛爭
ノ種類及
性質

國際紛爭 Contestation, Streitigkeit ハ其紛爭ノ性質ヨリ觀テ法律上ノ紛爭及ヒ政略上ノ紛爭ノ二トスルコトヲ得又其紛爭ノ程度ヨリ觀テ平時紛爭及ヒ戰爭ノ二

平時紛爭
ヲ解決ス
ル方法

トスルコトヲ得法律上ノ紛爭ハ一國カ他國ノ權利ヲ侵害シ又ハ侵害セントスル場合ニ生シ政略上ノ紛爭ハ單ニ兩國ノ利害又ハ感情ノ衝突アル場合ニ生ス而シテ平時紛爭ニ屬スルモノハ之ヲ解決スルニ種種ノ方法アリテ存スレトモ戰爭ハ實ニ兵力ヲ以テスル最後ノ解決手段ニシテ其勝敗ニ依リテ紛爭一決スルモノトス

第一節 平時紛爭

平時紛爭ヲ解決スル方法ハ之ヲ大別シテ平和的方法及ヒ強制的的方法ノ二種トス今左ニ之ヲ分説セン

第一 平和的方法

平和的方法ハ又之ヲ左ノ三種ニ區別ス

(一) 居中調停 居中調停 Médiation, Vermittelung ハ第三者カ紛爭國ノ間ニ立チテ平和的ニ其紛爭ヲ解決セン爲メ周旋 Bons offices ノ勞ヲ執ルヲ謂フ或ハ第三國カ自ラ進ミテ其勞ヲ執ルコトアリ或ハ紛爭國ノ一方又ハ雙方カ之ヲ依頼

平和的
方法ノ
種類
(一) 居
中調停
居
中調停
ノ起
ル場
合

調停者
戰時ニ於
ケル居中
調停

(二)仲裁
裁判
仲裁裁判
ノ手續

海牙平和
條約ニ於

スルコトアレトモ要スルニ第三國ハ友誼的仲介ヲ爲スニ止リ紛争國ノ主張ノ正否ヲ判斷スルニ非ス又自己ノ意見ヲ強行スルコト能ハス唯雙方ノ感情ヲ和ケ又ハ誤解ヲ釋キ以テ紛争ノ解決ヲ容易ナラシムルコトヲ得ルノミ而シテ調停者ハ必スシモ第三國タルコトヲ要セス第三國ノ元首又ハ國際委員會ノ如キモノモ亦之ニ當ルコトヲ得又居中調停ハ單ニ平時紛争ニ限ラス交戰國ヲシテ其媾和ヲ速ニセシメンカ爲メニ之ヲ爲スコトアリ米國大統領カ曩ニ日露兩國ニ對シテ居中調停シタルカ如キハ是レナリ

(二) 仲裁裁判 Arbitrage, Schiedsspruch トハ紛争國ノ申出ニ依リ仲裁者カ其紛争ニ對シテ爲ス裁判ヲ謂フ此方法ニ因リテ紛争ヲ解決スルニハ紛争國ハ先ツ仲裁條約 Compromis, Schiedsvertrag ヲ締結シテ然ル後ニ仲裁者ノ承諾ヲ求メサルヘカラス仲裁者ハ從來ノ國際慣習ニ依レハ或ハ第三國ノ政府又ハ元首ナルコトアリ或ハ法科大學又ハ裁判所ナルコトアリ或ハ大學教授裁判官又ハ外交官ナルコトアリ一ニ紛争國ノ選定ニ任ス然ルニ千八百九十九年ノ海牙平和條約ニ依レハ紛争國間ノ仲裁者ノ選定ニ就キテ特別ノ協約ナキ場合ニハ

ケル常設
仲裁裁判
所

(三)國際
審査委員
會ノ決定

該條約ヲ以テ構成シタル常設仲裁裁判所ヲシテ仲裁ノ任務ヲ執ラシムルコトト爲レリ故ニ若シ該條約ノ締盟國タル諸國ノ間ニ於テ紛争ヲ生シタルニ際シ仲裁條約ヲ締結シタルモ其條約中ニ仲裁者ノ選定ヲ爲ササリシトキハ當然常設仲裁裁判所ニ出訴シテ其裁判ヲ受クルモノト看做サル常設仲裁裁判所ハ各締盟國ニ於テ選定シタル裁判官ヲ構成ス其員數ハ各締盟國ニ付キ四名以下トシ其任期ハ六年トス但再任スルコトヲ妨ケス

(三) 國際審査委員會ノ決定 海牙平和條約ハ國際紛争ノ平和的解決ノ爲メニ更ニ國際審査委員會 Commissions internationales d'enquête ナルモノヲ設置セリ該委員會ハ專ラ事實問題ニ關スル紛争ヲ決定スルノ職務ヲ有スルモノニシテ若シ委員ノ選定ニ付キテ紛争國間ニ特別ノ協約ナキトキハ紛争國ハ常設仲裁裁判官中ヨリ之ヲ選定スヘキモノトス而シテ其決定ハ單ニ事實ノ審査證明ニ止リ毫モ仲裁裁判ノ性質ヲ有スルコトナシ

第二 強制的方法

強制的方法ニモ亦數種アリ即チ左ノ如シ

強制的方
法ノ種類

(一)報復

四九〇

(一) 報復。報復 Réverson トハ他國カ自國ノ爲メ不公平又ハ不利益ト認ムヘキ行爲ヲ爲ス場合ニ同一又ハ類似ノ行爲ヲ以テ之ニ返報スルノ謂ニシテ例ヘハ甲國カ乙國ノ輸入品ニ對シ苛酷ナル關稅ヲ課スルトキハ乙國モ亦甲國ノ輸入品ニ對シテ同率ノ關稅ヲ課シ甲國カ乙國ノ臣民ヲ虐待スルトキハ乙國モ亦甲國ノ臣民ヲ虐待スルカ如シ要スルニ報復ノ目的ハ相手國カ反省シテ其不公平不利益ノ行爲ヲ廢止センコトヲ期スルニ在リ故ニ其行爲ヲ廢止スルトキハ報復モ亦之ヲ廢止スヘキモノトス

(二)報仇

(二) 報仇。報仇 Représailles トハ他國カ自國ニ對シ不法行爲即チ國際公法ニ違反シテ自國ノ權利ヲ侵害スヘキ行爲アリタル場合ニ同一種類又ハ同一程度ノ不法行爲ヲ施シテ之ニ返報スルヲ謂フ加害國ニ對シテ通商航海其他ノ交通ヲ遮斷シ加害國人民ノ自國ニ在留スル者ヲ追放シ加害國又ハ加害國人民ノ財產ヲ差押ヘ又ハ沒收スル等ハ皆報仇ノ手段トシテ認メラルル所ナリ而シテ報仇ノ目的モ亦相手國ノ反省ヲ求ムルニ在ルカ故ニ其目的ヲ達シタルトキハ直ニ之ヲ廢止スヘキコトハ報復ト同シ

(三)船舶抑留

(三) 船舶抑留。船舶抑留 Embargo トハ自國ノ港灣又ハ領海ニ在ル他國ノ船舶及ヒ搭載品ヲ差押フルヲ謂フ從來或ハ戰爭開始ノ行爲ノ如ク看做サレタルコトナキニ非サレトモ現今ハ專ラ報仇行爲ノ一手段トセラルルノミ

(四)封鎖

(四) 封鎖。封鎖 Blocus トハ艦隊ヲ以テ他國ノ領海ノ一部殊ニ一定ノ港灣ヲ占據シテ内外ノ交通ヲ遮斷スルノ義ニシテ元來交戰中ノ行爲ナルモ千八百二十七年英佛露三國ノ艦隊カ希臘ノ海岸ヲ封鎖シタルヨリ以來平時ノ強制手段トシテ之ヲ用キタル例少カラス其平時ニ用キルノ故ヲ以テ稱シテ平時封鎖 Blocus pacifique ト云フ而シテ平時封鎖カ國際公法上正當ノ手段トシテ認メラルヘキヤ否ヤニ就キテハ學者ノ間ニ尙ホ未タ議論アルヲ免レス

第二節 戰爭

第十八世紀ノ初ニ當リサンピエール Saint Pierre カ永久平和論ヲ唱ヘシヨリ以來之ニ和スル者今尙ホ少カラスト雖モ國家間ニ戰爭ノ免ルヘカラサルコトハ掩フヘカラサルノ事實ニシテ遠ク其例證ヲ求ムルコトヲ要セス吾國民ハ實ニ

永久平和ノ理想ト戦争ノ

既往十年ノ間親シク二回ノ大戦争ヲ實驗セリ蓋シ一國ノ獨立ト名譽トヲ維持
センカ爲メニハ砲火ニ訴フルモ亦誠ニ已ムヘカラサレハナリ然レトモ戦争ハ
決シテ兩國間ノ信義ヲ滅絶スルモノニハ非ス交戦國 *Etats belligerants* ハ相互ニ
信義ヲ重シ緊急状態ノ場合ヲ除ク外戦時國際法規ヲ遵守セサルヘカラス

第一 戦争ノ開始

戦争ハ或ハ宣戰 *Déclaration de guerre, Kriegserklärung* ニ因リテ開始スルコトアリ或
ハ宣戰ニ因ラスシテ事實上ノ戰鬪ヲ以テ開始スルコトアリ抑モ宣戰カ戦争ノ
開始ニ必要ナリヤ否ヤニ就キテハ學者ノ間ニ議論ナキニ非ス然レトモ相手國
ニ對スル宣戰ハ實際之ヲ爲スコト稀ニシテ唯最後要求書 *Ultimatum* 等ヲ以テ之
ニ代フルコトアルノミ其第三國ニ對スルモノハ戦争開始前ニ之ヲ爲スヲ以テ
第三國ノ便宜トスルコトハ疑ナカルヘシト雖モ外交談判ノ事情及ヒ軍略ノ必
要上此ニ出ツルコト能ハサル場合多シ故ニ開戦ノ條件トシテ之ヲ強フルコト
難シ但一國ノ政略トシテハ第三國ニ對シテ開戦ノ理由ヲ明シ其同情ヲ獲ルノ
必要アルヲ以テ開戦ノ後ニ於テモ尙ホ宣戰ヲ爲スヲ例トス日清及ヒ日露ノ兩

戦争開始ノ場合
宣戰ハ戦争開始ノ要件ニ非ス
相手國ニ對スル宣戰
第三國ニ對スル宣戰

自國ノ臣民及ヒ敵國ノ臣民ニ對スル宣戰

開戦ノ效果

陸戰及ヒ海戰ニ於ケル法律關係
(一) 戰鬪手段

戰役ニ於テ我邦カ採リタル方法ハ即チ是レナリ尙ホ宣戰ハ自國ノ臣民及ヒ敵國ノ臣民ニ對シテモ之ヲ爲スコトアリ是レ一ハ以テ敵愾ノ心ヲ鼓舞シ一ハ以テ憤懣ノ情ヲ制スルナリ第三國ニ對スルモノハ之ヲ通告 *Notification* ト謂ヒ自國臣民ニ對スルモノハ之ヲ詔勅 *Proclamation* ト謂ヒ敵國臣民ニ對スルモノハ之ヲ諭告 *Manifeste* ト謂フ

戦争ノ開始アルトキハ兩國間ニ交戦状態ヲ生シ國際機關ハ當然解任ト爲リ兩國政府ハ時宜ニ從ヒ各自國內ニ滞在スル敵國臣民竝ニ外國臣民ノ身體及ヒ財產ニ對シテ非常處分ヲ爲スコトヲ得例ヘハ敵國臣民殊ニ間諜ヲ追放シ外國臣民ニ對シテ敵國トノ交通ヲ制限又ハ禁止シ敵國又ハ外國ノ船舶ニ對シテ抑留 *Arrêt de prince* ヲ施ス如キハ是レナリ

第二 陸戰及ヒ海戰

陸戰ト海戰トノ間ニハ多少其法規ヲ異ニスルモノアリ然レトモ此ニハ唯概要ヲ舉クルヲ以テ旨トスルカ故ニ併セテ之ヲ説カン

(一) 戰鬪手段 戰鬪手段ハ直接又ハ間接ニ敵國ハ戰鬪力ヲ滅殺スルニ在リ

不正ナル
直接戦闘
手段

不正ナル
間接戦闘
手段

(二)戦闘
員及ヒ非
戦闘員

直接手段トハ兵力ヲ用キテ敵軍ヲ破壊スルヲ謂ヒ間接手段トハ兵力ヲ用キス
 謀計ヲ以テ敵勢ヲ挫折スルヲ謂フ而シテ敵國ノ戦闘力ヲ減殺スルヲ以テ程度
 トスルカ故ニ其手段ノ直接ナルト間接ナルトヲ問ハス一定ノ制限ヲ超ユヘカ
 ラス即チ直接手段ニ在リテハ戦闘員ノ外故意ニ之ヲ殺傷スヘカラス又戦闘員
 ヲ殺傷スルニモ慘酷ナル方法ニ出ツヘカラス毒又ハ毒ヲ施シタル兵器ヲ使用
 シ無益ノ苦痛ヲ與フヘキ兵器、彈藥、其他ノ物質ヲ使用シ敵兵ノ我手ニ落ツル者
 ヲ助命セサルコトヲ宣言シ敵兵ノ降ヲ乞ヘル者ヲ殺傷シ及ヒ欺罔ノ行爲ヲ以
 テ敵兵ヲ殺傷スルカ如キハ皆不正ノ手段トシテ禁止セラル又間接手段ニ在リ
 テハ軍使旗、國旗、其他軍用ノ標章及ヒ敵兵ノ制服並ニ赤十字條約ノ徽章ヲ濫用
 スルカ如キハ等シク不正手段ニ屬ス

(二) 戦闘員及ヒ非戦闘員 戦争ニ於ケル真正ノ敵ハ交戦主體タル國家其物
 ニシテ臣民ニ非ス然レトモ國家ハ自ラ戦闘ヲ爲スコト能ハス必ス臣民ノ一部
 ニ命シテ之ニ從事セシム故ニ戦闘ニ從事スル者ト普通臣民トヲ區別スルノ必
 要アルコトハ固ヨリ論ナシ又戦闘ニ從事スル者ノ中ニ就キテモ躬ラ軍隊ノ戰

戦闘員ノ
殺害

俘虜

病傷兵

(三)敵國
ノ土地及
ヒ敵國臣
民ノ財産
ハ敵國ノ
砲撃又ハ
砲撃ノ砲

闘力ヲ組成スル者ト軍隊ニ屬シテ其戦闘力ヲ組成セサル者トハ之ヲ區別
 セサルヘカラス前者ハ即チ戦闘員 *Combatants* ニシテ後者ハ即チ非戦闘員 *Non-*
combatants ナリ交戦國カ互ニ相殺害スルコトヲ得ルハ唯戦闘員ニ止リ非戦闘
 員ハ之ヲ殺害スルコトヲ得ス但非戦闘員ト雖モ赤十字條約ニ依リテ局外中立
 ト看做サル者ノ外ハ之ヲ俘虜トスルコトヲ妨ケス俘虜ハ之ヲ一定ノ場所ニ
 留置シ又必要ニ應シテ之ヲ拘禁スルコトヲ得ルモ其之ヲ抑留スルノ目的ハ專
 ラ敵軍ニ協力スルコトヲ防止スルニ在ルヲ以テ其目的以外ニ於テハ務メテ之
 ヲ寬待スヘキモノトス若シ夫レ病傷兵ニ至リテハ敵軍ニ屬スル者モ皆等シク
 之ヲ救護スヘキハ交戦國相互ノ義務ニシテ之ヲ收容スル病院並ニ其救護ニ從
 事マル人員ハ局外中立ノ待遇ヲ受ケ不可侵ノ特權ヲ有ス是レ千八百六十四年
 ジュネーヴニ於テ締結セラレタル赤十字條約ノ規定スル所ナリ

(三) 敵國ノ土地及ヒ敵國又ハ敵國臣民ノ財産 敵國ノ土地ニ對シテハ交戦
 國ハ互ニ敵國ノ防守セル市邑ヲ砲撃又ハ合圍スルヲ得又敵國ニ侵入スルト同
 時ニ其全部又ハ一部ヲ占領スルコトヲ得之ヲ戰時占領 *Occupatio bellica* ト謂フ

ハ占領

戦利品ト
為スコト
ヲ得ヘキ
物

海上捕獲

(四)戦時
條約

其占領地域ニ在リテハ戰時警察權ヲ行ヒ秩序ヲ回復シ及ヒ之ヲ保持スルカ爲
 メニ必要ナル手段ヲ執ルコトヲ得又徵發ヲ命シ租稅其他ノ公課ヲ徵收スルコ
 トヲ得敵國ノ公有財産中軍艦兵器彈藥等ハ勿論秣糧其他輸送材料金錢又ハ有
 價證券モ亦苟モ戰鬪計畫ニ關係アルモノハ之ヲ押收シ又ハ破壊スルヲ得國有
 不動産ニ關シテハ交戰國ハ唯一時之ヲ管理シ且使用收益スルコトヲ得ルノミ
 之ヲ押收スルコトヲ得ス戦利品。Etain, Bente トハ即チ交戰國カ相互ニ押收シタ
 ル財産ナリ敵國臣民ノ私有財産ニ至リテハ陸上ノモノト海上ノモノトニ於テ
 大ニ其運命ヲ異ニス陸上ノ私有財産ハ不可侵ノモノトシ交戰國カ之ヲ押收シ
 又交戰國軍人カ之ヲ掠奪スルコトヲ許サスト雖モ海上ノ私有財産即チ船舶及
 ヒ貨物ハ交戰國ニ於テ之ヲ捕獲スルコトヲ得之ヲ海上捕獲。Prise maritime ト謂
 フ其捕獲ヲ行フモノハ軍艦トシ千八百五十六年ノ巴里宣言ニ與ラサル國ニ於
 ナテハ捕獲用私船 (Corsaires) ヲ以テ之ヲ行フコトヲ妨ケス而シテ其捕獲カ適法
 リヤ否ヤハ捕獲審檢所 Tribunal de prise ノ審判ヲ經テ決定スルモノトス

(四) 戦時條約 交戰國カ交戰狀態ノ繼續中ニ締結スル條約ハ之ヲ戰時條約

戰爭終結
ノ原因

局外中立
ノ意義

トス俘虜交換條約降服條約休戰條約等ヲ其主要ナルモノトス此等ノ條約ヲ締
 結スルニハ通常一方ヨリ所謂軍使 Parlementaires ヲ送り商議セシムルモノトス

第三 戰爭ノ終結

戰爭ノ終結ハ即チ交戰狀態ヲ消滅セシムルモノニシテ其原因ハ講和條約ノ締
 結ヲ以テ最モ普通ナルモノトス又交戰國ノ一方カ他ノ一方ヲ征服シタルトキ
 又ハ雙方カ事實上永久停戰ヲ爲シタルトキニ於テモ戰爭ノ終結アレトモ近世
 ニ於テハ此ノ如キ事例ヲ見ルコト鮮シ

第三節 局外中立

局外中立 Neutralité トハ第三國カ交戰關係ニ加入セサルヲ謂フ蓋シ第三國ハ交
 戰國ノ一方ニ對シテ其戰鬪上ノ便宜ヲ與フル行動ヲ避止スルノ義務ヲ有スル
 ト同時ニ交戰國雙方ニ對シテハ平和的交際ヲ繼續スルノ權利ヲ有ス局外中立
 トハ即チ此狀態ヲ名ツクルモノトス

第一 局外中立ノ種類

局外中立ノ種類

四九八

局外中立ハ之ヲ大別シテ任意中立及ヒ特約中立ノ二種トス任意中立 *Neutralité facultative* トハ第三國カ任意ニ爲ス所ノ中立ニシテ是レヲ普通ノ中立トス特約中立 *Neutralité conventionnelle* トハ國際條約ニ本ツキ義務トシテ爲ス中立ニシテ瑞士白耳義等ノ如キ永久中立國ノ中立ノ如キハ之ニ屬ス任意中立ハ其中立ノ態度ニ從ヒ完全中立 *Neutralité parfaite* 不完全中立 *N. imparfaite* 嚴正中立 *N. stricte* 好意中立 *N. bienveillante* 武裝中立 *N. armée* 等ニ區別ス完全中立ハ交戰國雙方ニ對シ飽マテ中立ノ義務ヲ守ルモノニシテ嚴正中立ト云フモ亦同シ不完全中立ハ或ル事項ニ付キテ交戰國ノ一方又ハ雙方ニ援助ヲ與フル場合ニ生シ好意中立ハ交戰國ノ一方ニ對シ多少間接ノ便宜ヲ計ル場合ニ生シ武裝中立ハ中立國ニ於テ陸海軍ノ兵備ヲ嚴ニシ以テ交戰國カ中立ノ權利ヲ侵害セントスルニ際シテハ之ヲ防止スルノ態度ヲ執ル場合ニ生ス要スルニ皆外交政略ヨリ出タル中立ノ態度ニ依リテ區別スルモノナリ

第二 局外中立ノ發生及ヒ消滅

局外中立ハ第三國カ交戰狀態ノ開始ヲ知了シタルトキニ於テ發生ス其交戰狀

局外中立ノ發生

中立宣告ハ要件ニ非ス

局外中立ノ消滅

中立國ノ權利

中立國ノ義務

態ノ開始ヲ知了スルハ通常宣戰ノ通告ニ接シタルトキナルコトハ前ニ述ヘタル所ヲ以テ明ナリ而シテ第三國ニ於テモ此場合ニ際シ所謂中立宣告 *Déclaration de neutralité*, *Neutralitätserklärung* ヲ爲スヲ通常トスレトモ是レ亦慣例又ハ政略ニ出ツルモノニシテ法理上中立宣告ノ必要アルニ非ス中立狀態ハ事實上ニ於テ交戰關係ニ參加セサルニ由リテ自然ニ成立スルモノト謂ハサルヘカラス若シ夫レ局外中立ノ消滅カ戰爭ノ終結ト相伴フコトハ言ヲ待タスシテ明白ナラン

第三 中立國ノ權利及ヒ義務

中立國ノ權利ハ交戰國雙方ニ對シテ平和關係ヲ持續シ又交戰國ヲシテ自己ノ版圖内ニ於テ戰鬪手段ヲ執リ又ハ其準備ヲ爲サシメサルニ在リ故ニ中立國政府ハ交戰國政府ニ對シテ公務上ノ交通ヲ爲シ又其臣民ヲシテ相互ニ交通セシムルコトヲ得ルト同時ニ交戰國ノ一方又ハ雙方カ自己ノ領土又ハ領海内ニ軍隊又ハ艦隊ヲ通過シ若クハ其根據地集合地等ヲ設ケントスルカ如キ場合ニハ之ヲ拒絶シ其他必要ニ應シテ中立狀態ヲ完クスルノ權利ヲ行フコトヲ得中立國ノ義務ハ交戰國ノ一方又ハ雙方ニ對シテ作戰上ノ援助ヲ與ヘサルニ在

リ故ニ軍需品又ハ資金ヲ供給シ援兵ヲ派遣シ領土又ハ領海ノ一部ヲ作戰計畫ノ爲メニ利用スルコトヲ許スカ如キハ皆中立義務ニ違反スルモノニシテ若シ中立國カ其義務ニ違反スルトキハ交戰國ハ損害賠償其他相當ノ救濟ヲ求ムルコトヲ得ヘシ

第四 海上捕獲及ヒ封鎖

中立國ノ船舶ニ對スル海上捕獲ハ局外中立關係ヨリ生スル事項中甚重要ナルモノニシテ其原因ハ戰時禁制品ノ搭載及ヒ封鎖ノ干犯ニ基ク戰時禁制品 *Contrabande de Guerre* ニハ絶對的禁制品ト相對的禁制品トアリ兵器彈藥爆裂藥軍用運搬具軍用被服等ノ如キ專ラ戰鬪用ニ供シ又ハ主トシテ之ニ供スル貨物ヲ絶對的禁制品トシ糧食石炭馬匹鐵道又ハ電信材料等ノ如キ必スシモ戰鬪用ニ供セサル貨物ヲ相對的禁制品トス相對的禁制品ニ關シテハ學說ハ勿論諸國ノ條約慣例及ヒ立法例未タ相同シカラス蓋シ利益ノ一致セサルモノアレハナリ而シテ戰時禁制品ヲ搭載セル中立國ノ船舶ヲ捕獲シタルトキハ禁制品ヲ沒收スルノ外爾餘ノ貨物及ヒ船舶ハ之ヲ放免スルヲ通則トス是レ其敵船捕獲ノ處

中立國ノ船舶ニ對スル海上捕獲
戰時禁制品

封鎖

封鎖ノ通告及ヒ其效果

分ト異ナル所ナリ封鎖ハ前ニ述ヘタルカ如ク艦隊ヲ以テ相手國ノ領海ノ一部ヲ占據シ内外ノ交通ヲ遮斷スル處分ニシテ其封鎖ヲ施シタルトキハ之ヲ通告スルヲ原則トス其通告ハ或ハ一般ニ各中立國ニ對シテ之ヲ爲スコトアリ或ハ特別ニ封鎖區域ニ進航スル船舶ニ對シテ之ヲ爲スコトアリ若シ中立國ノ船舶ニシテ其通告ニ接シタル後ニ於テ封鎖ヲ侵犯シ又ハ侵犯セントスルトキハ之ヲ捕獲シ其船舶及ヒ搭載貨物ハ併セテ之ヲ沒收スルヲ通則トス

訂正 法學通論 終 改版

京都帝國大學教授 法學博士 織田萬 著

訂正 法學通論

京都帝國大學教授 法學博士 織田萬 著

鑛業法令講義

法學博士 織田萬 論評 法學士 市村光惠 著

訂正 行政法原理

京都帝國大學助教授 法學士 市村光惠 著

醫師の權利義務

法學博士 跡部定次郎 法學博士 毛戶勝元 纂譯

國際民商法論

上製脊皮全壹冊
特定料製價金壹圓五拾錢
送金拾貳錢增

並製金壹圓壹拾錢
上料製價金壹圓貳拾錢
送金拾貳錢

上製脊皮全壹冊
定價料製價金拾參錢
送金拾六錢

洋裝金壹圓五拾錢
定價料製價金拾貳錢
送金拾貳錢

上製脊皮全貳冊
定價料製價金各貳錢
送金拾六錢

法學博士 毛戶勝元 法學博士 跡部定次郎共著

法民實習類題

法學士 西川一男參助 法學士 丸山長渡著

改正商法要義

在大學院 法學士 小川市太郎著

改正刑法要義

朝鮮協會藏版 岩永重華編

最新韓國實業指針

石川縣金澤商業學校校長 中野觀象 早藤石太郎共著

實用商業簿記學

送定洋料價裝金全六拾錢冊

送定上料價製金脊皮全五拾錢冊

送定上料價製金全八拾壹錢冊

送定上料價製美金壹圓貳拾錢冊

送定上料價製金全九拾錢冊

神戸高等商業學校教授 津村秀松著

國民經濟學原論

在大學院 法學士 夏秋龜一著

增訂最新經濟論

法學博士 福田德三原著 商學士 坂西由藏譯

日本經濟史論

東京帝國大學講師 法學士 山內正瞭著

英文經濟綱要

東京帝國大學教授 法學博士 河津暹著

普通經濟學教科書

上製脊皮全貳拾五錢冊

送定上料價製金壹圓五拾錢冊

送定上料價製金壹圓五拾錢冊

送定上料價製金全八拾錢冊

送定上料價製金全七拾錢冊

<p>法學士志行藤井宇平著</p> <p>通俗人生及經濟</p> <p>洋裝全六壹拾錢</p>	<p>神戶高等商業學校教授 商學士平尾丹治著</p> <p>最新商業通義</p> <p>美本全壹拾錢</p>	<p>東京高等商業學校教授 佐野善作著</p> <p>增補銀行論</p> <p>定價全壹圓貳拾錢</p>	<p>神戶高等商業學校教授 小野十郎著</p> <p>新商業算術</p> <p>定價全壹圓貳拾錢</p>	<p>實文館編輯所編纂</p> <p>最近商業一統地理</p> <p>定價全壹圓貳拾錢</p>
---	--	--	--	---

▲有斐閣發賣書目抄▼

<p>內閣總理大臣西園寺公望閣下題辭 內閣記錄課御編纂</p> <p>現行法令輯覽</p> <p>全三冊</p> <p>定價全壹圓貳拾錢</p>	<p>京都帝國大學法科大學助教授法學博士 井上密先生論評 市村光惠先生著</p> <p>憲法要論</p> <p>全一冊</p> <p>定價全壹圓九十五錢</p>	<p>東京帝國大學法科大學教授法學博士 穗積八東先生著</p> <p>憲法大意</p> <p>全一冊</p> <p>定價全壹圓四拾錢</p>	<p>東京帝國大學法科大學助教授法學士 上杉填吉先生著</p> <p>比較各國憲法論</p> <p>全一冊</p> <p>定價全壹圓拾壹錢</p>	<p>東京帝國大學法科大學教授法學博士 美濃部達吉先生著</p> <p>日本國法學</p> <p>全一冊</p> <p>定價全壹圓貳拾錢</p>	<p>獨逸イェリネツク氏原著 東京帝國大學法科大學教授法學博士 美濃部達吉先生譯</p> <p>國權宣言論</p> <p>全一冊</p> <p>定價全壹圓貳拾錢</p>	<p>グロウグマイエル原著 法學博士 吾孫子勝 法學士 松本函治</p> <p>逸國法論</p> <p>全一冊</p> <p>定價全壹圓貳拾錢</p>	<p>東京帝國大學法科大學教授法學博士 梅謙次郎先生著</p> <p>獨逸國法論</p> <p>全一冊</p> <p>定價全壹圓貳拾錢</p>
--	--	--	---	--	--	---	---

Handwritten notes and signatures at the bottom left of the page.

93
68e

13.6.24

終